



取扱説明書

集中管理システム エスペックオンラインコア PCS-ES

44271040001B0

2020 年 06 月 30 日

エスペック株式会社

- 本書をよく読んでから操作してください。
- 製品をご使用の前に「安全上の注意」を注意深く読み、よく理解してください。
- 本書は、いつでも使用できるように大切に保管してください。

責任範囲

本書に記載された取扱方法を必ず遵守して本製品をご使用ください。万一、本書に記載されている以外の内容でご使用され、事故または故障が発生した場合、エスペック株式会社は一切の責任を負いません。本書での禁止事項は、実施しないでください。思わぬ事故や故障を起こす原因となることがあります。

複製・転載について

- ・ 本書の著作権は、エスペック株式会社が所有しています。
当社の書面による同意なしには、本書の一部または全部の複製および転載を禁じます。
- ・ 本書の内容は、将来予告なく変更することがあります。
- ・ 本商品にはオープンソースソフトウェアが含まれています。
オープンソースソフトウェアの使用条件については、マニュアル CD にあります利用規約の「ソフトウェアライセンスについて」をご確認ください。

目次

はじめに

！ 必ずお読みください。

使用者の限定	4
安全に関する表記	4
キーワード	4
マニュアル構成	5

第1章 安全上の注意

1.1 遠隔地からの運転操作	7
1.2 廃棄について	8
1.3 その他の注意	8

第2章 概要

2.1 エスペックオンラインコアについて	9
2.2 ハードウェアについて	9

第3章 初期設定

3.1 「初期設定ツール」で設定する	12
3.2 手動で設定する	14

第4章 機能説明、画面構成

4.1 エスペックオンラインコアにアクセスする	19
4.2 各画面共通	21
4.3 集中モニター画面	22
4.4 装置履歴画面	23
4.5 スケジュール画面	24
4.6 ユーザー設定画面	26
4.7 システム設定画面	27

第5章 集中モニター

5.1 集中モニター画面 フロア表示	29
5.1.1 装置の移動	30
5.1.2 装置画像表示	31
5.1.3 装置ボックスサイズ	32
5.1.4 装置状態の凡例	33
5.1.5 装置表示	35
5.2 集中モニター画面 リスト表示	40
5.2.1 表示項目選択領域の表示/非表示	41
5.2.2 表示項目の選択	41
5.2.3 表示項目の順序を入れ替える	41
5.2.4 絞り込み機能	42
5.2.5 並び替え	42

第6章 装置履歴

6.1 運転履歴	43
6.1.1 運転履歴画面の説明	43
6.1.2 表示期間の入力	44
6.1.3 収録データのダウンロード	45
6.1.4 履歴データの削除	45

第7章 スケジュール

7.1 スケジュール画面	47
7.1.1 スケジュール表示の切り替え	47
7.1.2 表示スケジュールの選択	49
7.2 予定の入力	50
7.2.1 予定編集画面	50
7.2.2 予定の登録	51

第8章 ユーザー設定

8.1 ユーザー設定画面	53
8.2 ユーザーの編集	54
8.2.1 管理者権限ユーザー編集画面	54
8.2.2 ユーザー権限のユーザー設定画面	55
8.2.3 ユーザー権限のユーザー編集画面	55

第9章 システム設定

9.1 ネットワーク設定	57
9.2 E-Mail 設定	59
9.3 エスペックオンラインコアの時刻合わせ	61
9.3.1 手動での設定手順	61
9.3.2 時刻サーバと同期させる手順	62
9.3.3 タイムゾーンを合わせる手順	63
9.4 初期表示言語を設定する	64
9.5 エスペックオンラインコアと接続する装置の選択	65
9.5.1 装置設定画面	65
9.5.2 装置編集画面	66
9.5.3 装置登録、編集の手順	72
9.5.4 並び替え	73
9.6 エスペックオンラインコアのカレンダー設定	74
9.6.1 カレンダー設定画面	74
9.6.2 カレンダー編集画面	74
9.7 バックアップ設定	75
9.8 機器情報の確認	78
9.9 本体の再起動、シャットダウン	80
9.10 工場出荷状態に戻す	81

第10章 接続例

10.1 接続例.....	83
---------------	----

第11章 ファイルアップロード

11.1 ファイルアップロード手順.....	87
------------------------	----

第12章 トラブルシューティング

12.1 トラブルシューティング.....	89
-----------------------	----

はじめに

！ 必ずお読みください。

使用者の限定

製品の操作は熟練技術者自ら、または、熟練技術者から正しい使用の教育・訓練を受けた方を対象としています。




■熟練技術者の定義

製品の使用目的を理解し、操作方法、日常の保守点検などに関連した教育訓練を受けた方で、電気などの危険源に関わるリスクを予測し、その危険を予防する立場の方。



安全に関する表記

安全に関する表記は次の表示で区分し、説明しています。

■人に対する危害のレベルを表しています。

 危険	取り扱いを誤った場合に、極度に危険な状況が起こり得て、使用者が死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。
 警告	取り扱いを誤った場合に、危険な状況が起こり得て、使用者が死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。
 注意	取り扱いを誤った場合に、危険な状況が起こり得て、使用者が軽傷または微傷を受ける可能性が想定される場合。

■人に対する危険回避のための指示を表しています。

 禁止	危険の発生回避のために特定の行為の禁止を表す場合。
 必ず実施	危険の発生回避のために特定の行為の義務付け(指示)を表す場合。

■物的損害および環境汚染に関する情報を表します。

通 知	取り扱いを誤った場合に、危険な状況が起こり得て、物的損害のみの発生が想定される場合または環境汚染が想定される場合。
-----	---

キーワード

■本文は次のキーワードで区分し、説明しています。

お願い	装置の機能を十分に発揮するために必要な情報や、装置自体の損傷を防ぐための情報を示しています。
手 順	操作方法を示しています。
参 考	製品の機能を十分に発揮するために参考になる情報を示しています。

マニュアル構成

マニュアルは以下のように構成されています。目的に応じてそれぞれをご利用ください。

CD 取扱説明書	以下の内容が収録されています。
----------	-----------------





CD 取扱説明書 収録内容





名称	詳細説明
取扱説明書	装置の基本的な取扱い方法を説明しています。 ※オプションの操作方法については、オプションの取扱説明書の内容に基づき読み替えを行ってください。
オプション	オプションの操作方法を説明しています。
初期設定ツール	装置の初期設定をするためのツールです。

第1章 安全上の注意

製品を安全にお使いいただくための注意事項について説明します。使用者や製品、試料に事故が発生することを防ぐため、必ずお読みいただき、指示に従ってください。

1.1 遠隔地からの運転操作

 危険	
	<p>安全のために、遠隔制御を行っていることを装置に示し、作業者に注意を促してください。</p> <p>装置に遠隔制御を行っている旨の表記を行います。</p>
	<p>遠隔制御中に止むを得ず槽内や周辺で作業を行う必要が生じた場合は、装置電源ブレーカーをOFFにしてください。</p>
	<p>試料に通電する場合は、必ず試料電源制御端子を使用してください。</p> <p>試料電源制御端子を使用しない場合、試料からの発熱によって試験槽内の温度が上昇し、試料が破損することがあります。最悪の場合、火災になることも考えられます。</p>

 警告	
	<p>遠隔地から運転操作を行う場合は、試験槽内、周辺の安全性を十分に確保してください。</p>
	<p>試験槽内、周辺での操作中、および試料の出し入れなどの作業中に、遠隔地から運転操作を行わないでください。</p> <p>試料電源端子を利用して試料に通電している場合、突然運転を始めることによって通電され、感電する危険があります。</p> <p>また、サービスマンがメンテナンス中であれば、回転体に触れることによるけがや、感電事故を引き起こす可能性があります。その場合における損害は、エスベック株式会社は一切の責任を負いません。</p>
	<p>試料への通電試験を行う前には、装置のトラブル(温度過昇など)を動作させて、トラブル発生時に試料への通電が停止することを必ず確認してください。</p> <p>万が一、試料電源端子が動作しない場合、試料への通電が継続され、装置の温度が上昇し、最悪の場合火災になることも考えられます。</p>

◆ お願い ◆

試料保護のために装置を介さずに、直接通電を遮断できる温度ヒューズなどを試料近傍に取り付けて装置保護と二重化することをお勧めします。

1.2 廃棄について

本製品はパソコンとして扱われます。

廃棄する場合は、規制コンプライアンスに従って廃棄してください。

本体内部の基板裏面にボタン電池 CR2032 を 1 個搭載しています。

リサイクルが可能な地域であれば、電池をリサイクルしてください。

破棄する場合は、規制コンプライアンスに従ってください。

1.3 その他の注意

通 知

この製品はクラス A 情報技術装置(工業環境で使用される機器)です。この製品を一般事務所や軽工業環境で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。その場合、この製品との距離を離すなど、使用者が適切な対策をとってください。

第2章 概要

エスペックオンラインコアの概要について説明しています。

2.1 エスペックオンラインコアについて

本システムは様々なメーカーの Web 対応機器の運転状態の確認、試験スケジュールの管理を実施するものです。

機能を大きく分けると「モニター機能」、「状態記録機能」、「スケジュール管理機能」、「通報機能」になります。

操作権限に応じて、利用できる機能の制限を設けています。

2.2 ハードウェアについて



注意



付属の AC アダプター以外は使用しないでください。

火災、故障などの原因になります。



Ethernet ポート、電源アダプター接続口以外の接続口は使用しないでください。

メンテナンス用 USB ポート、メンテナンス用 VGA ポートは当社がサービス時に使用するもので、いかなる機器も接続しないでください。

通信ができない場合や、故障や火災のおそれがあります。

本体内部の基板裏面にボタン電池 CR2032 を 1 個搭載しています。

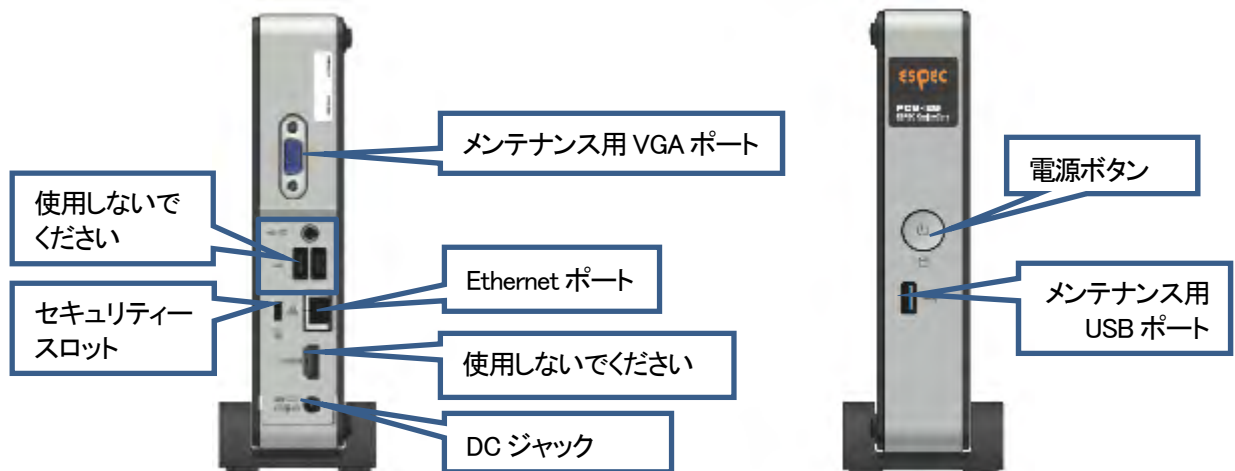
違う種類の電池を使用すると爆発する場合があります。

電池寿命は AC アダプターを抜いた状態で 3 年となります。

これらを守らない場合、使用される地域の規制コンプライアンスの要求事項に違反する場合があります。

◆ お願い ◆

- 本システムの用途以外には使用しないでください。
当社 HP 以外から最新のドライバー、BIOS のアップデートを行った場合や、本機の改造を行った場合、保証の適用外となります。
- ON、OFF は「システム設定画面」の「再起動ボタン」もしくは、「シャットダウンボタン」、または本体の電源ボタンで行ってください。
電源 ON の状態でコンセントの抜き差しや DC ジャックの抜き差しは行わないでください。
データが壊れたり、通信できなくなる場合があります。
- 本システムは冷却のためのファンを備えておりません。
埃が少なく、通気性のよい涼しい場所に設置してください。



電源ボタン: エスペックオンラインシステムの電源 ON、OFF を行います。

Ethernet ポート: イン트라ネット用の LAN ケーブルを接続します。

DC ジャック: 付属の AC アダプターを接続します。

セキュリティスロット: セキュリティ用のワイヤーなどを差し込みます。

メンテナンス用 USB ポート: 当社のサービス時に使用しますので、誤って機器を接続しないでください。

メンテナンス用 VGA ポート: 当社のサービス時に使用しますので、誤って機器を接続しないでください。

※上記以外のポートについても機器を接続しないようにしてください。

第3章 初期設定

エスペックオンラインコアの初期設定について説明します。

初期設定前にエスペックオンラインコアの IP アドレス、サブネットマスク、必要に応じてゲートウェイアドレスをご用意ください。エスペックオンラインコアは DHCP には対応していません。

E メール機能を利用される場合は、メールサーバーの情報ををご用意ください。

初期設定に使用する PC と同じネットワークへ接続する場合は、

「3.1 初期設定ツールで設定する」を参照ください。

ご使用されている PC と異なるネットワークへ接続する場合 または手動で設定を行う場合は、

「3.2 手動で設定する」を参照ください。

■ 準備するもの

- ・セットアップ用 PC
- ・エスペックオンラインコア本体
- ・エスペックオンラインコア用 AC アダプター(付属品)
- ・LAN ケーブル 1 本

(セットアップ用 PC～エスペックオンラインコア本体を接続できる長さをご用意ください。)

・ネットワーク接続情報

＜社内ネットワークへ接続する場合＞

- ・固定 IP アドレス
- ・サブネットマスク
- ・ゲートウェイアドレス

＜メール送信する場合＞

- ・DNS サーバーのアドレス
- ・SMTP ホスト名(サーバー名)
- ・SMTP ポート
- ・E-Mail 差出人アドレス
- ・E-Mail 送信先アドレス

＜SMTP 認証を行う場合＞

- ・SMTP ユーザー
- ・SMTP パスワード

◆ お願い ◆

Web ブラウザーの設定で、Java Script が無効になっていると正しく動作しません。

設定を有効にするには、まず Internet Explorer のインターネットオプションのセキュリティタブを選択し、「レベルのカスタマイズ」をクリックします。

インターネットゾーン画面の下記内容すべてにおいて「有効にする」にチェックを入れてください。

- ・Java アプレットのスクリプト
- ・アクティブスクリプト
- ・スクリプトでのステータスバーの更新を許可する

◆ 参 考 ◆

- Web ブラウザーの説明画面は一例です。ご使用の Web ブラウザーの種類によっては操作性が異なる場合があります。
- イン트라ネットへの接続については、必要に応じて社内のネットワーク担当者にご相談ください。
- Web ブラウザーのセキュリティ設定によっては、ポップアップなどの動作がブロックされる場合があります。セキュリティ設定については、必要に応じて社内のネットワーク担当者へご確認のうえ、Web ブラウザーのセキュリティ設定の変更を行ってください。
- Web ブラウザーのインターネット一時ファイル(キャッシュ)によって最新の値が表示されない場合があります。
常に最新の値を表示させるには Internet Explorer のインターネットオプションのインターネット一時ファイル設定にて「Web サイトを表示するたびに確認する」にチェックを入れてください。
- システム設定画面の各項目の詳細は、「第9章 システム設定」をご参照ください。
- システムのメンテナンスについて
システムのメンテナンスのために、自動的に再起動するしくみになっています。

3.1 「初期設定ツール」で設定する

◆ お 願 い ◆

ツールを起動するには、管理者権限での実行が必要です。
ツールには、PC の IP アドレスを変更する設定が含まれています。

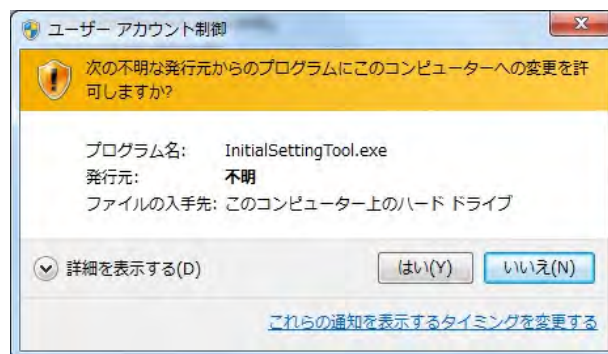
ツールを使用する PC には、以下のスペックが必要です。

- ・OS: Microsoft Windows 7、8、8.1、10 であること
- ・Microsoft 社 .NET Framework 3.5.1 以上がインストールされていること

<手 順>

- 1) 無線 LAN、通信カードを使用している場合、初期設定の作業中は一時的に設定を無効にしてください。
無線 LAN を無効にする方法 (Windows7 の場合)
「スタート」→「コントロールパネル」→「ネットワークと共有」から
「アダプター設定の変更」をダブルクリックして開きます。
「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックし、「無効にする」をクリックします。
設定終了後に無線 LAN を使用する場合は、「有効にする」をクリックしてください。
- 2) 付属している取扱説明書 CD 内の「初期設定ツール」より ZIP ファイルをダウンロードし、PC に保存してください。
- 3) ソフトウェア使用許諾書をよくお読みいただき、内容について同意いただける場合は ZIP ファイルを解凍し、「InitialSettingTool.exe」をダブルクリックしてください。

- 4) 管理者として実行メッセージが表示されたら、「はい」を選択してください。



- 5) 使用する言語を、「日本語」または「英語」から選択してください。

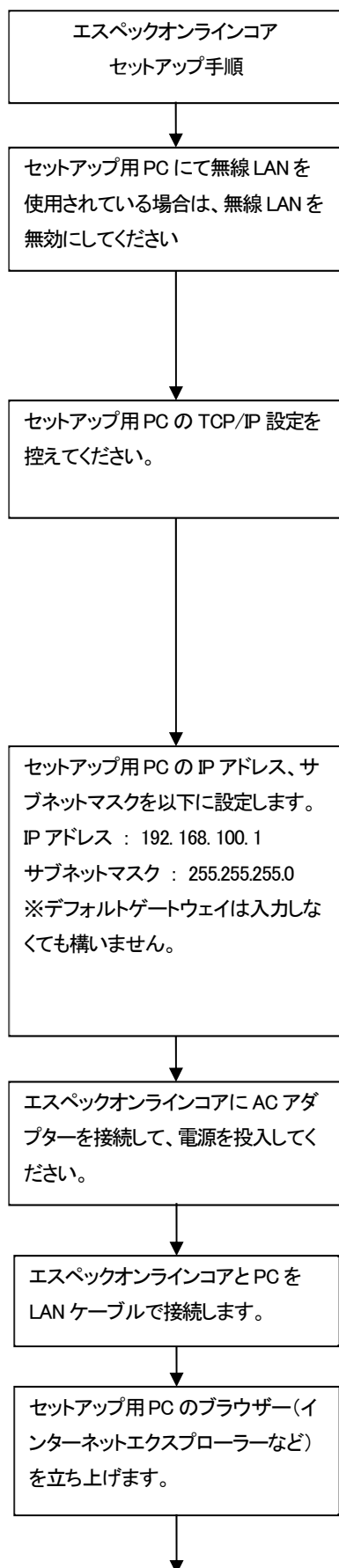


- 6) ガイダンスに従い設定を開始してください。



3.2 手動で設定する

■手順



無線 LAN を無効にする方法(Windows7 の場合)

「スタート」→「コントロールパネル」→「ネットワークと共有」から「アダプター設定の
変更」をダブルクリックして開きます。

「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックし、「無効にする」をクリックします。
設定終了後に無線 LAN を使用する場合は、「有効にする」をクリックしてください。

TCP/IP 設定の確認方法(Windows7 の場合)

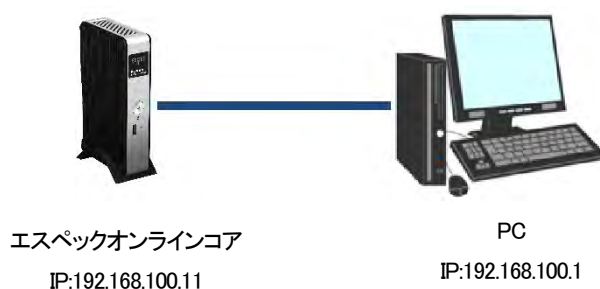
「スタート」→「コントロールパネル」→「ネットワークと共有」から「アダプター設定の
変更」をダブルクリックして開きます。

「ローカルエリア接続」を右クリックしてプロパティを開きます。

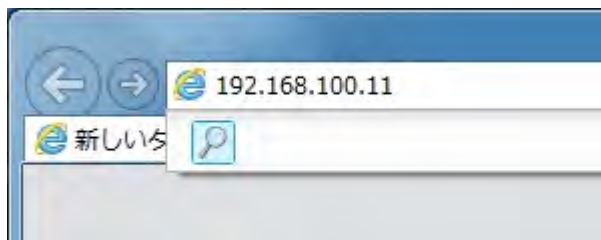
「ネットワーク」タブの中に表示されている「インターネットプロトコル バージョン 4
(TCP/IPv4)」を選択し、プロパティをクリックします。

「インターネットプロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ」画面が開きますの
で、表示されている項目を全て控えてください。

上記の「インターネットプロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ」画面にて、
「次の IP アドレスを使う」にチェックを入れてから入力してください。



ブラウザの URL に、
「192.168.100.11」を
入力してエンターキーを押します。
※インターネットエクスプローラー
の場合



ログイン画面が表示されますので、
使用許諾書をよくお読みになり、使
用許諾内容に同意いただける場合
は、ユーザー名を「administrator」に
設定し、パスワードに「admin」を入
力して、
使用許諾内容に同意してログインをクリ
ックします。



集中モニター画面が表示されます
ので、「システム設定」タブをクリック
します。



システム設定画面が表示されます
ので、各項目を入力します。

社内イントラネットに接続する場合は、事前に用意したネットワーク設定を入力して、**保存**をクリックします。設定が完了すれば、メッセージボックスが表示されます。

イントラネットに接続しない場合は、初期値の設定のままでも結構です。必要により任意で設定してください。

ネットワーク

ホスト名	<input type="text"/>
IPアドレス	<input type="text"/>
サブネットマスク	<input type="text"/>
ゲートウェイ	<input type="text"/>
DNS 1	<input type="text"/>
DNS 2	<input type="text"/>

保存

注意: IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスは、電源を再投入するまで有効になりません。DNSアドレスはすぐに有効になります。

試験終了時に、エスペックオンラインコアから E-mail で通報する場合は、事前に用意した E-mail 設定を入力して、**保存**をクリックします。設定が完了すれば、メッセージボックスが表示されます。

必要に応じて、TLS 設定を行ってください。

E-mail 通報機能を使用しない場合は、入力する必要はありません。

E-Mail

SMTP ホスト	<input type="text"/>
SMTP ポート	<input type="text"/>
SMTP ユーザー	<input type="text"/>
SMTP パスワード	<input type="text"/>
Eメール差出人名	<input type="text"/>

認証が必要

Yes ☒ No ☐

TLSを使う

Yes ☒ No ☐

保存

エスペックオンラインコアに内蔵している時計を、どのように時刻合わせするか設定します。

・手動設定

手動で年月日時刻を入力します。

・時刻サーバーと同期

インターネット上の公開時刻サーバーなどか、イントラネット上の社内時刻サーバーの URL を入力します。時刻サーバーと同期させる場合は、次のタイムゾーンの設定を行ってください。

設定が完了すれば、メッセージボックスが表示されます。

時刻サーバーと同期させる場合はタイムゾーンの設定を合わせます。設定が完了すれば、メッセージボックスが表示されます。

初期表示言語の設定を行います。設定が完了すれば、メッセージボックスが表示されます。

[装置設定](#)をクリックして、装置設定画面に移ります。
詳細は「第9章 システム設定」を参照ください。

[カレンダー設定](#)をクリックして、カレンダー設定画面に移ります。
詳細は「第9章 システム設定」を参照ください。

[バックアップ管理](#)をクリックして、バックアップ設定画面に移ります。
詳細は「第9章 システム設定」を参照ください。

時刻合わせ

☒ 手動設定

日付 2016 - 12 - 15 時刻 9 : 22 : 50

☐ 時刻サーバーと同期

時刻サーバーURL:

タイムゾーン

タイムゾーン

タイムゾーンの変更後電源を再投入してください。

初期表示言語

言語

装置設定

装置を設定します。

カレンダー設定

スケジュール画面での表示色を設定・変更します。

バックアップ管理

システムのバックアップを設定します。

「システム設定画面」の右上にある「再起動」ボタンをクリックします。
または、本体の電源ボタンで電源 OFF、電源 ON を行います。



PC の TCP/IP 設定を、控えめな値に戻してください。

ブラウザの URL に、先ほどの設定したエスペックオンラインコアの IP アドレスを入力します。

ログイン画面が表示されたらセットアップ完了です。

第4章 機能説明、画面構成

エスペックオンラインコアの機能説明、画面の構成について説明します。

4.1 エスペックオンラインコアにアクセスする

◆ 参 考 ◆

ご使用の Web ブラウザーの種類によっては操作性が若干違う場合があります。
モダン UI 版の Internet Explorer 11 には対応していませんので、デスクトップ版をお使いください。
タッチパネル操作に対応していない部分もありますので、マウスをお使いください。

Web ブラウザーの起動とログイン方法

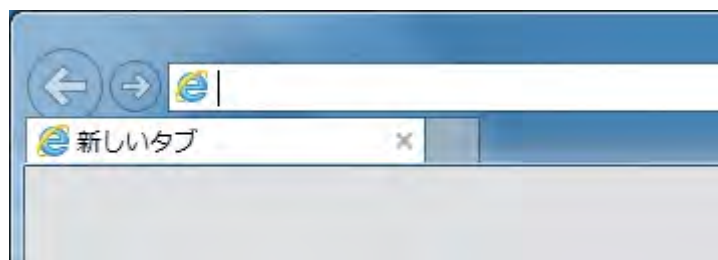
<手 順>

- 1) Internet Explorer を起動します。



- 2) [アドレス欄]に「第3章 初期設定」で設定した、エスペックオンラインコアの IP アドレスを入力し、Enter キーを押します。

http://(エスペックオンラインコアの IP アドレス)



- 3) 「エスペックオンラインコア使用許諾書(PDF)」をクリックし、使用許諾内容をよくお読みください。
- 4) 使用許諾内容に同意いただける場合は、権限に応じたユーザー名およびパスワードを入力し、使用許諾内容に同意してログインをクリックします。



◆ 参 考 ◆

工場出荷時のアカウント名は『administrator』、パスワードは、『admin』です。

- 5) 権限に応じて表示できる画面が異なります。権限によって操作/表示できる画面は以下になります。各画面の機能については以降の項にて説明いたします。

ログイン権限/画面	集中 モニター	装置履歴	スケジュール	ユーザー 設定	システム 設定
管理者	○	○	○	○	○
ユーザー (予定の登録・編集・削除) (他ユーザーの予定変更)	△※1	△※2	○	△※5	×
ユーザー (予定の登録・編集・削除)	△※1	△※2	△※3	△※5	×
ユーザー	△※1	△※2	△※4	△※5	×

※1) 装置の移動はできません。

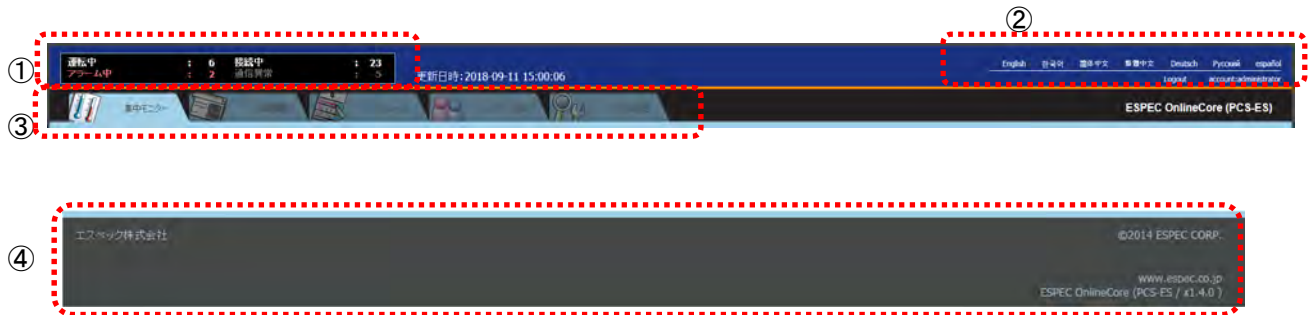
※2) 履歴の削除はできません。

※3) 他ユーザーのスケジュールの削除はできません。

※4) 閲覧のみ可能です。

※5) ログインしたユーザーの情報のみ編集可能です。

4.2 各画面共通



① 装置状態モニター

接続している装置の内、運転中/接続中/アラーム中/通信異常の台数が表示されます。
集中モニター画面では自動更新のチェックに連動して自動または手動で更新されます。

② 画面上部

English(英語表示切替)、한국어(韓国語表示切替)、简体中文(簡体中国語表示切替)、
繁體中文(繁体中国語表示切替)、Deutsch(ドイツ語表示切替)、русский(ロシア語表示切替)、
español(スペイン語表示切替)、Logout(ログアウトリンク)、ログインしているアカウント名が表示されます。

③ 画面切替タブ

エスペックオンラインコアの各画面へ移動するタブが表示されます。各画面へ移動する場合は、表示されているタブをクリックしてください。
表示されるタブの種類はログインする権限によって変化します。

④ 画面下部

ホームページへのリンクおよびエスペックオンラインコアの型式、バージョンが表示されます。

◆ お願い ◆

ブラウザの「戻る」ボタンを使わないでください。
画面によりワンクリックで前の画面に戻らない場合があります。

4.3 集中モニター画面

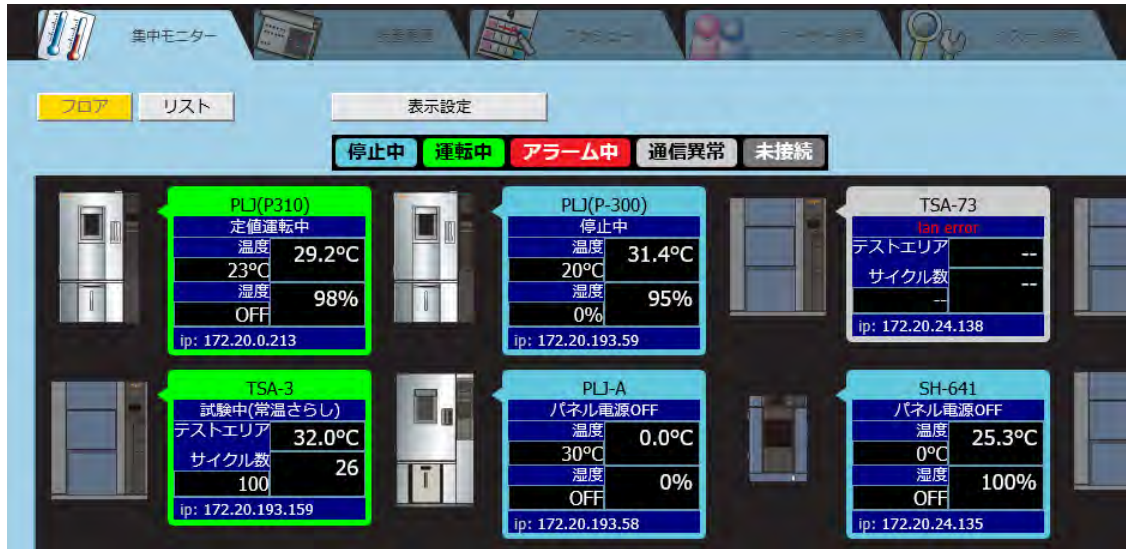
集中モニター画面の説明

ログインを行なった際、最初に表示される画面です。この画面では接続された装置のモニターが可能です。集中モニタータブをクリックすると、集中モニター画面に移動することができます。どの権限でログインしても、集中モニター画面へ移動することができます。

フロア表示とリスト表示があり、必要に応じて切替が可能です。

集中モニター画面の詳細操作については、「第5章 集中モニター」を参照してください。

<フロア表示>



<リスト表示>



4.4 装置履歴画面

装置履歴画面の説明

この画面では装置の運転履歴をモニターすることが可能です。
 装置履歴タブをクリックすると、装置履歴画面に移動することができます。
 装置履歴画面の詳細操作については、「第6章 装置履歴」を参照してください。

ESPEC OnlineCore (PCS-ES)

運転履歴

運転履歴

期間 2020/04/13 ~ 2020/05/13

表示 CSV出力

日時	装置名	機種	区分	内容	試験名	備考
2020-05-11 17:10:56 (月)	PLJ	プラチナス-J 温度制御有り	終了	パネル電源OFF		
2020-05-11 11:49:10 (月)	PLJ	プラチナス-J 温度制御有り	終了	パネル電源OFF		
2020-05-09 16:21:16 (土)	小型環境試験機(P-200)	小型環境試験器 温度有り SH-2	終了	停止中		
2020-05-09 15:01:16 (土)	小型環境試験機(P-200)	小型環境試験器 温度有り SH-2	終了	停止中		
2020-05-09 15:00:16 (土)	小型環境試験機(P-200)	小型環境試験器 温度有り SH-2	開始	プログラム 運転中	PGM :3 PGM-03	
2020-05-09 14:59:16 (土)	小型環境試験機(P-200)	小型環境試験器 温度有り SH-2	終了	停止中		
2020-05-09 14:53:16 (土)	小型環境試験機(P-200)	小型環境試験器 温度有り SH-2	開始	プログラム 運転中	PGM :3 PGM-03	
2020-05-09 14:52:16 (土)	小型環境試験機(P-200)	小型環境試験器 温度有り SH-2	終了	停止中		
2020-05-09 14:46:16 (土)	小型環境試験機(P-200)	小型環境試験器 温度有り SH-2	開始	プログラム 運転中	PGM :3 PGM-03	
2020-05-09 14:45:16 (土)	小型環境試験機(P-200)	小型環境試験器 温度有り SH-2	終了	停止中		
2020-05-09 14:36:16 (土)	小型環境試験機(P-200)	小型環境試験器 温度有り SH-2	開始	プログラム 運転中	PGM :3 PGM-03	
2020-05-09 14:35:16 (土)	小型環境試験機(P-200)	小型環境試験器 温度有り SH-2	終了	停止中		

4.5 スケジュール画面

スケジュール管理画面の説明

この画面では装置の試験スケジュールへの入力と、試験終了時のメール送信などの設定を行うことが可能です。

スケジュールタブをクリックすると、スケジュール画面に移動することができます。

スケジュール画面の詳細操作については、「第7章 スケジュール」を参照してください。

日表示

表示切替
表示形式選択: ☒ 日 ☐ 週 ☐ 月

日

キー選択: 装置
部署: 選択されていません
担当者: 選択されていません

2016/12/15

本日 1週間前 前日 2016/12/15(木) 次日 1週間後

装置	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
恒温恒湿器 PLJ-1	試験																							
小型環境試験機 SH-2	試験																							
リモート I/O-6017	試験																							
リモート I/O-6018	試験																							
リモート I/O-6066	試験																							
ネットワークカメラ A	試験																							
DMM Agilent-A	試験																							
レコーダー MT-100	試験																							
PLK CONV	試験																							
PLK PMS	試験																							
冷却衝撃装置 TSA-1 (CONV-L4)	試験																							
冷却衝撃装置 TSA-1 (PMS-CN)	試験																							
冷却衝撃装置 TSA-3	試験																							
ハイパワー恒温恒湿器 AR	試験																							
HASTチャンバー EHS	試験																							
急速温度変化チャンバー TCC	試験																							
Elx 純水製造装置	試験																							
ARF STD-J	試験																							
ARF 温度板	試験																							
ena-WC	試験																							
恒温恒湿器 PLJ-2	試験																							

週表示

表示切替
表示形式選択: ☐ 日 ☒ 週 ☐ 月

週

キー選択: 装置
部署: 選択されていません
担当者: 選択されていません

2016/12/15

本日 1週間前 前日 2016/12/15 ~ 2016/12/21 次日 1週間後

装置	15(木)	16(金)	17(土)	18(日)	19(月)	20(火)	21(水)
恒温恒湿器 PLJ-1	試験						
小型環境試験機 SH-2	試験						
リモート I/O-6017	試験						
リモート I/O-6018	試験						
リモート I/O-6066	試験						
ネットワークカメラ A	試験						
DMM Agilent-A	試験						
レコーダー MT-100	試験						
PLK CONV	試験						
PLK PMS	試験						
冷却衝撃装置 TSA-1 (CONV-L4)	試験						
冷却衝撃装置 TSA-1 (PMS-CN)	試験						
冷却衝撃装置 TSA-3	試験						
ハイパワー恒温恒湿器 AR	試験						
HASTチャンバー EHS	試験						
急速温度変化チャンバー TCC	試験						
Elx 純水製造装置	試験						
ARF STD-J	試験						
ARF 温度板	試験						
ena-WC	試験						
恒温恒湿器 PLJ-2	試験						

月表示

表示切替

表示形式選択: ☐ 日 ☐ 週 ☐ 月

月

キー選択: 設備

部署: 選択されていません

担当者: 選択されていません

2016/12/15

今月 前月 2016/12 次月

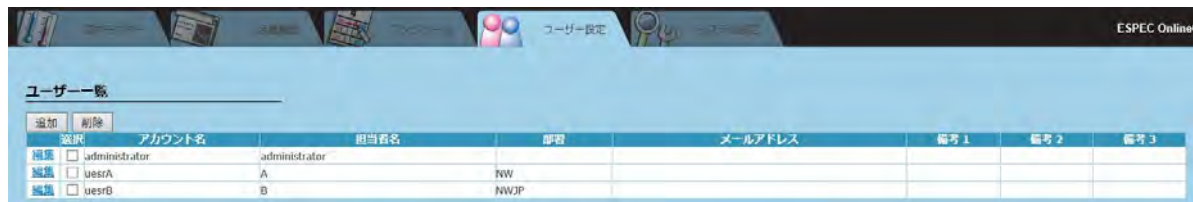
日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2016/12/15

4.6 ユーザー設定画面

ユーザー設定画面の説明

この画面ではエスペックオンラインコアへログインできるユーザーの登録と、権限の設定を行うことが可能です。ユーザー設定タブをクリックすると、ユーザー設定画面に移動することができます。ユーザー設定画面の詳細操作については、「第 8 章 ユーザー設定」を参照してください。



権限	アカウント名	担当名	部署	メールアドレス	番号 1	番号 2	番号 3
<input type="checkbox"/>	administrator	administrator					
<input type="checkbox"/>	uesrA	A	NW				
<input type="checkbox"/>	uesrB	B	NWJP				

4.7 システム設定画面

システム設定画面の説明

この画面では、エスペックオンラインコアのシステム設定を行うことができます。
 管理者権限でログインした場合に、システム設定タブをクリックすると、システム設定画面に移動することができます。ユーザー権限でログインした場合は、この画面へ移動できません。
 システム設定画面の詳細操作については、「第9章 システム設定」を参照してください。

ネットワーク

ホスト名	PCS-ES
IPアドレス	
サブネットマスク	
ゲートウェイ	
DNS 1	
DNS 2	

E-Mail

SMTP ホスト	
SMTP ポート	
SMTP ユーザー	
SMTP パスワード	
Eメール発出人名	

Yes ☒ No ☐

TLSを使う

Yes ☒ No ☐

注意：IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスは、電源を再投入するまで有効になりません。DNSアドレスはすぐに有効になります。

時刻合わせ

☒ 手動設定

日付 2020 - 6 - 8 時刻 19 : 24 : 57

☐ 時刻サーバーと同期

時刻サーバーURL:

タイムゾーン

タイムゾーン

タイムゾーンの変更後電源を再投入してください。

初期表示言語

言語

装置設定

装置を設定します。

カレンダー設定

スケジュール画面での表示色を設定・変更します。

バックアップ管理

システムのバックアップを設定します。

工場出荷状態に戻す

電源を再投入してください。

第 5 章 集中モニター

集中モニター画面について説明します。

※ 説明画面は管理者権限にて説明しています。権限の詳細については「第 8 章 ユーザー設定」を参照ください。

5.1 集中モニター画面 フロア表示

集中モニター画面 フロア表示の説明

集中モニター画面 フロア表示について説明します。

モニター画面には最大で 100 台分の装置が表示できます。(装置画像非表示の場合)



- ① フロア表示 / リスト表示の切り替えができます。
- ② フロア内の装置ボックスの位置やサイズ、凡例色の編集ができます。
- ③ 装置状態の凡例を表示します。
- ④ エスペックオンラインコアに接続された各機器の測定情報を表示します。
- ⑤ 各装置のボックスを表示するフィールドです。
- ⑥ モニター内容の更新日時を表示します。

5.1.1 装置の移動

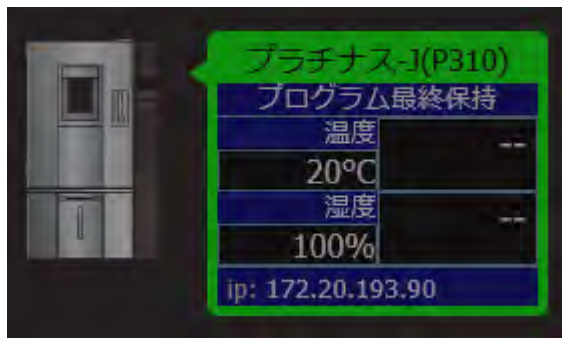
装置ボックスは、フィールド内の任意の位置に移動できます。

<手 順>

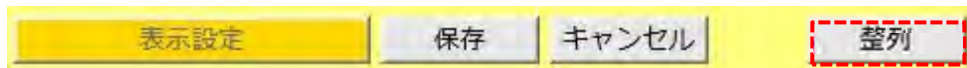
- 1) **表示設定** をクリックします。
- 2) **表示設定** が黄色になり、**保存** **キャンセル** ボタンが表示されます。



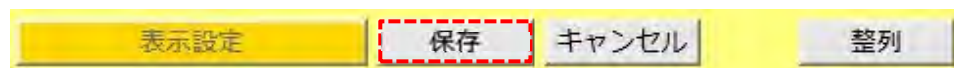
- 3) 装置ボックスをドラッグして位置を移動します。



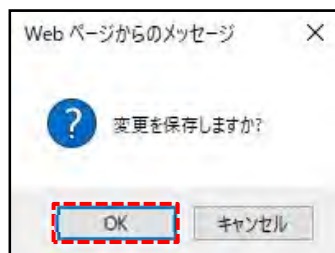
- 4) **整列** をクリックすると、装置設定の装置一覧のNo順に並び変わり整列します。



- 5) 移動後は **保存** をクリックします。



- 6) メッセージが表示されるので、**OK** をクリックします。



- 7) **表示設定** が元に戻り、移動位置が確定されます。

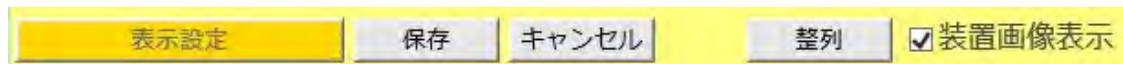
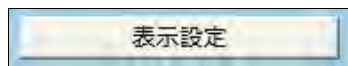


5.1.2 装置画像表示

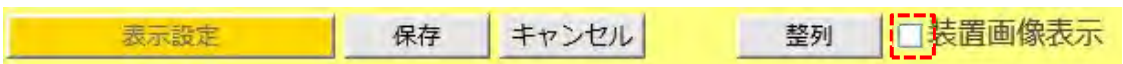
装置画像の 表示/非表示 を選択できます。
初期設定は装置画像を表示しています。

<手 順>

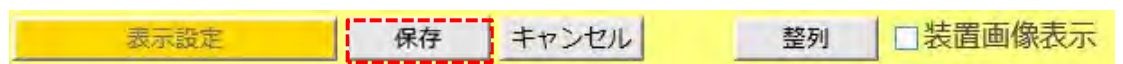
- 1) **表示設定** をクリックします。
- 2) **表示設定** が黄色になり、**保存** **キャンセル** **整列** [装置画像表示]のチェックが表示されます。



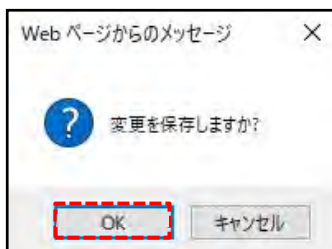
- 3) [装置画像表示]のチェックを外すと、装置画像が非表示になります。



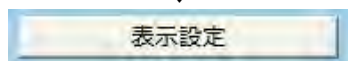
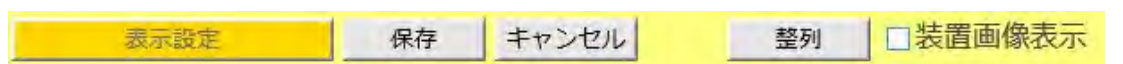
- 4) 変更後は **保存** をクリックします。



- 5) メッセージが表示されるので、**OK** をクリックします。



- 6) **表示設定** が元に戻り、変更が確定されます。



5.1.3 装置ボックスサイズ

装置ボックスのサイズを変更することができます。初期設定は[中]です。

<手順>

- 1) **表示設定** をクリックします。
- 2) **表示設定** が黄色になり、**保存** **キャンセル** **整列** [装置画像表示]のチェック
[装置サイズ]の **大** **中** **小** が表示されます。



- 3) [装置サイズ]のアイコン **大** **小** のいずれかをクリックすると装置ボックスサイズが変更されます。



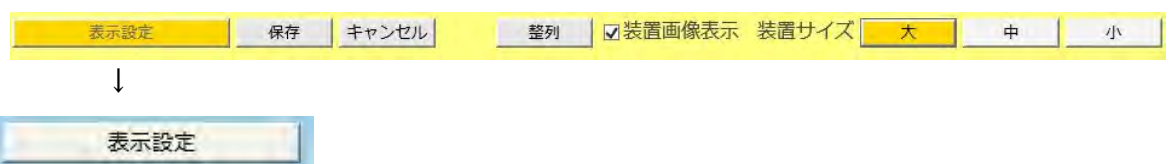
- 4) 変更後は **保存** をクリックします。



- 5) メッセージが表示されるので、**OK** をクリックします。

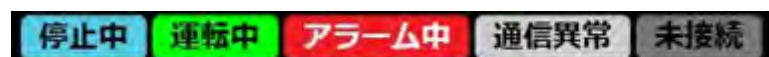


- 6) **表示設定** が元の色に戻り、変更が確定されます。



5.1.4 装置状態の凡例

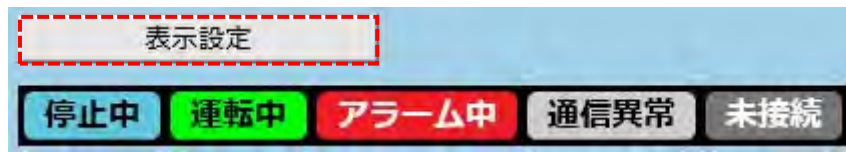
装置ボックスの色で装置の状態を表します。色は変更できます。
初期設定は以下になります。



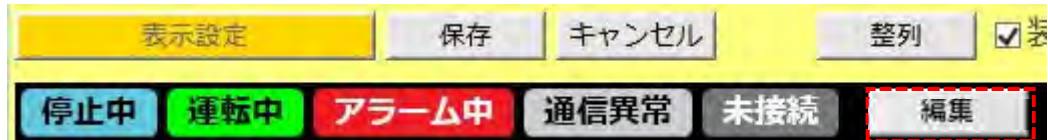
状態	詳細	表示例
停止中	装置が停止中であることを表します。	
運転中	装置が運転中であることを表します。	
アラーム中	装置が警報発生状態であることを表します。	
通信異常	装置との通信に異常が発生していることを表します。 「第12章 トラブルシューティング」を参照してください。	
未接続	「システム設定」の[装置設定]で[接続]にチェックなしの装置を表します。	

<手 順>

- 1) **表示設定** をクリックします。



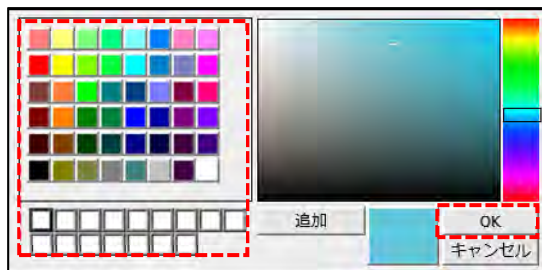
- 2) 装置状態の凡例に表示された **編集** を、クリックします。



編集画面が表示されます。背景色、文字色の部分をクリックするとパレットが表示されます。



- 3) 使用する色をパレットから選択して **OK** をクリックします。



- 4) **OK** をクリックし確定します。



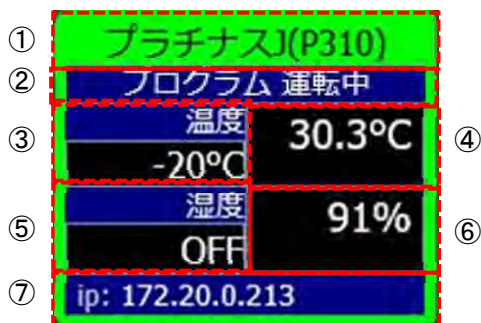
5.1.5 装置表示

装置表示について説明します。表示される装置は以下の種類が存在します。

◆ 参 考 ◆

- 装置の状態は、装置によって表示内容が異なります。
エスペック製装置のみ装置状態の詳細まで表示することが可能です。
- IP アドレスをクリックして表示される Web ページの内容は、各装置や機器の取扱説明書を参照ください。

温湿度タイプ



- ① 登録された装置名称を表示します。
- ② 装置の状態を表示します。
- ③ 温度の設定値を表示します。
- ④ 温度の測定値を表示します。
- ⑤ 湿度の設定値を表示します。
- ⑥ 湿度の測定値を表示します。
(湿度設定していない場合は、測定値など表示値は装置によって異なります)
- ⑦ 装置の IP アドレスを表示します。クリックすれば対象装置の Web ページが表示されます。

温度タイプ



- ① 登録された装置名称を表示します。
- ② 装置の状態を表示します。
- ③ 温度の設定値を表示します。
- ④ 温度の測定値を表示します。
- ⑤ 装置の IP アドレスを表示します。クリックすれば対象装置の Web ページが表示されます。

冷熱タイプ

①	TSA3		
②	試験中(常温さらし)		
③	テストエリア	30.0°C	④
⑤	サイクル数	19	⑥
	100		
⑦	ip: 172.20.193.159		

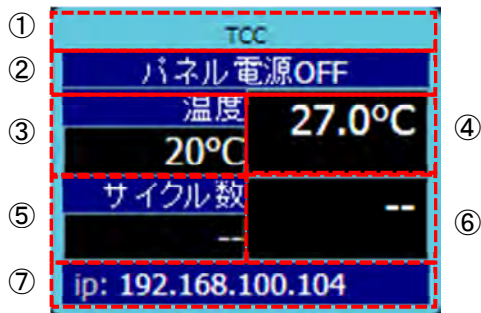
- ① 登録された装置名称を表示します。
- ② 装置の状態を表示します。
- ③ 測定箇所を表示します。
- ④ テストエリア温度の測定値を表示します。
- ⑤ 設定サイクル数を表示します。
- ⑥ 実行サイクル数を表示します。
- ⑦ 装置の IP アドレスを表示します。クリックすれば対象装置の Web ページが表示されます。

HAST タイプ

①	HAST EHS		
②	停止中		
③	温度	25.4°C	④
	142.9°C		
⑤	湿度	100%	⑥
	70%		
	圧力	--	⑦
	--		
⑧	ip: 192.168.100.103		

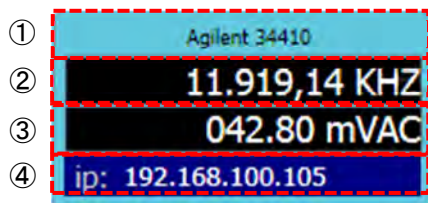
- ① 登録された装置名称を表示します。
- ② 装置の状態を表示します。
- ③ 温度の設定値を表示します。
- ④ 温度の測定値を表示します。
- ⑤ 湿度の設定値を表示します。
- ⑥ 湿度の測定値を表示します。
- ⑦ 圧力の測定値を表示します。記録計オプションが搭載されていない場合は"--"表示になります。
- ⑧ 装置の IP アドレスを表示します。クリックすれば対象装置の Web ページが表示されます。

TCC



- ① 登録された装置名称を表示します。
- ② 装置の状態を表示します。
- ③ 温度の設定値を表示します。
- ④ 温度の測定値を表示します。
- ⑤ 設定サイクル数を表示します。サイクル運転中でない場合は"--"表示になります。
- ⑥ 実行サイクル数を表示します。サイクル運転中でない場合は"--"表示になります。
- ⑦ 装置の IP アドレスを表示します。クリックすれば対象装置の Web ページが表示されます。

DMM タイプ



- ① 登録された装置名称を表示します。
- ② DMM の表示部の1段目の値を表示します。
- ③ DMM の表示部の2段目の値を表示します。
- ④ 装置の IP アドレスを表示します。クリックすれば対象装置の Web ページが表示されます。

カメラタイプ



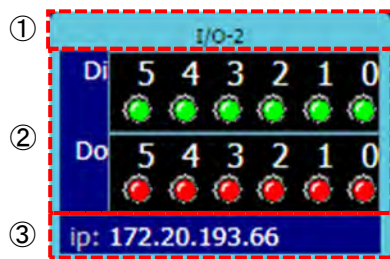
- ① 登録された装置名称を表示します。
- ② 静止画測定を表示します。
- ③ 装置の IP アドレスを表示します。クリックすれば対象装置の Web ページが表示されます。

リモート I/O タイプ(アナログ I/O)



- ① 登録された装置名称を表示します。
- ② 入出力状態を表示します。(DIO 入出力状態 緑:ON 赤:OFF)
- ③ 装置の IP アドレスを表示します。クリックすれば対象装置の Web ページが表示されます。

リモート I/O タイプ(デジタル I/O)



- ① 登録された装置名称を表示します。
- ② 入出力状態を表示します。(緑:ON 赤:OFF)
- ③ 装置の IP アドレスを表示します。クリックすれば対象装置の Web ページが表示されます。

レコーダー



- ① 登録された装置名称を表示します。
- ② 表示指定したチャンネルのラベルと測定値を表示します。
- ③ 装置の IP アドレスを表示します。クリックすれば対象装置の Web ページが表示されます。

純水製造装置(メルクミリポア製)

①	ELIX	
②	Elix水製造	
	Elix純水水質	0.381uS/cm ③
	タンク水位	0.0% ④
⑤	ip: 172.20.193.55	

- ① 登録された装置名称を表示します。
- ② 装置の状態を表示します。
- ③ Elix 純水水質を表示します。
- ④ タンク水位を表示します。
- ⑤ 装置の IP アドレスを表示します。クリックすれば対象装置の Web ページが表示されます。

5.2 集中モニター画面 リスト表示

フロア表示しているモニター内容を一覧表示することができます。

全ての装置を一度に見ることや、絞り込みや並び替えを行うことで必要な装置のみをモニターすることもできます。

① フロア リスト

② 停止中 運転中 アラーム中 通信異常 未接続

③ ☒ 表示項目

④

- ☒ 装置名
- ☒ 装置状態
- ☒ 設定温度
- ☐ 測定圧力
- ☐ Disp1
- ☐ Do
- ☐ タンク水位
- ☐ CH 3
- ☐ CH 6
- ☐ CH 9
- ☐ CH 12
- ☐ CH 15
- ☐ CH 18
- ☐ CAM
- ☐ 管理部署
- ☒ 設定温度
- ☒ 測定湿度
- ☐ 設定サイクル数
- ☐ Disp2
- ☐ Ao
- ☐ CH 1
- ☐ CH 4
- ☐ CH 7
- ☐ CH 10
- ☐ CH 13
- ☐ CH 16
- ☐ CH 19
- ☐ LINK
- ☐ 管理者
- ☒ 測定温度
- ☐ 設定圧力
- ☐ 測定サイクル数
- ☐ Di
- ☐ Elix純水水质
- ☐ CH 2
- ☐ CH 5
- ☐ CH 8
- ☐ CH 11
- ☐ CH 14
- ☐ CH 17
- ☐ CH 20

⑤

⑥ リセット

⑦

No	装置名	装置状態	設定温度	測定温度	設定湿度	測定湿度
1	ブラチナスJ(P310)	プログラム 運転中	-20°C	29.2°C	OFF	100%
2	PLJ	パネル電源OFF	20°C	29.3°C	0%	95%
3	小型環境SH-641	停止中	0°C	25.1°C	OFF	100%
4	小型環境試験(P-200)	定値運転中	0°C	30.2°C	OFF	100%
5	TSA-73	停止中		30.0°C	-	-
6	TSA	受電中	-	28.0°C	-	-
7	TSA3試験中(高温さらし)			30.0°C		

⑧

⑨ 更新日時: 2020-06-03 11:13:27

- ① フロア表示/リスト表示を切り替えることができます。
- ② 装置状態の凡例を表示します。
- ③ リストに表示する項目の選択画面の表示/非表示を選択します。
- ④ ⑧に表示する項目を選択できます。チェックが入っている項目を表示します。
- ⑤ ⑧に表示する列をドラッグ&ドロップで入れ替えができます。
- ⑥ 絞り込み検索ができます。
- ⑦ ④で選択した項目が表示されます。項目名をクリックすることで昇順/降順で並び替えができます。
- ⑧ 各装置の状態を表示します。背景色は②に準じます。
- ⑨ モニター内容の更新日時を表示します。

5.2.1 表示項目選択領域の表示/非表示

リストに表示する項目の選択画面を表示/非表示が変更できます。

☒表示項目 : 選択画面を表示します。

☐表示項目 : 選択画面を非表示にします。



5.2.2 表示項目の選択

リストに表示する項目をカスタマイズすることができます。

モニターしたい項目にチェックを入れてください。

<input checked="" type="checkbox"/> 装置名	<input type="checkbox"/> 管理部署	<input type="checkbox"/> 管理者
<input checked="" type="checkbox"/> 装置状態	<input checked="" type="checkbox"/> 設定温度	<input checked="" type="checkbox"/> 測定温度
<input checked="" type="checkbox"/> 設定湿度	<input checked="" type="checkbox"/> 測定湿度	<input type="checkbox"/> 設定圧力
<input type="checkbox"/> 測定圧力	<input type="checkbox"/> 設定サイクル数	<input type="checkbox"/> 測定サイクル数
<input type="checkbox"/> Disp1	<input type="checkbox"/> Disp2	<input type="checkbox"/> Di
<input type="checkbox"/> Do	<input type="checkbox"/> Ao	<input type="checkbox"/> Elix純水水質
<input type="checkbox"/> タンク水位	<input type="checkbox"/> CH 1	<input type="checkbox"/> CH 2
<input type="checkbox"/> CH 3	<input type="checkbox"/> CH 4	<input type="checkbox"/> CH 5
<input type="checkbox"/> CH 6	<input type="checkbox"/> CH 7	<input type="checkbox"/> CH 8
<input type="checkbox"/> CH 9	<input type="checkbox"/> CH 10	<input type="checkbox"/> CH 11
<input type="checkbox"/> CH 12	<input type="checkbox"/> CH 13	<input type="checkbox"/> CH 14
<input type="checkbox"/> CH 15	<input type="checkbox"/> CH 16	<input type="checkbox"/> CH 17
<input type="checkbox"/> CH 18	<input type="checkbox"/> CH 19	<input type="checkbox"/> CH 20
<input type="checkbox"/> CAM	<input type="checkbox"/> LINK	

5.2.3 表示項目の順序を入れ替える

リストに表示する項目の順序を任意に入れ替えることができます。

入れ替えたい項目名の上のセルをドラッグし、お好きな位置でドロップしてください。

入れ替えを行わない場合は表示項目選択部と同じ順序で表示されます。

リセットボタンをクリックすると入れ替えた順序が解除されます。



5.2.4 絞り込み機能

リストに表示させる装置を絞り込むことができます。
リセットボタンをクリックすると全ての絞り込みが解除されます。

リセット	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
No ▾	装置名	装置状態	設定温度	測定温度	設定湿度	測定湿度

項目名	絞り込み方法
装置名	フリーワードで絞り込んでください。
管理部署/管理者	登録されている内容がプルダウンリストに表示されますのでその中から選択してください。
装置状態	現在の装置の状態がプルダウンリストに表示されますのでその中から選択してください。
温度などの数値項目	上限値もしくは下限値を任意に設定してください。 どちらか一方のみを設定した場合は、以下もしくは以上での絞り込みになります。

◆ 参 考 ◆

各項目の絞り込み条件はすべて AND 検索で処理します。

5.2.5 並び替え

各項目の名称部分をクリックすると、その項目の昇順・降順に並び替えることができます。
並び替えの対象は 1 項目です。最後に選んだ項目の並び替えが行われます。
リセットボタンをクリックすると入れ替えた順序が解除されます。

リセット	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
No ▾	装置名	装置状態	設定温度	測定温度	設定湿度	測定湿度

◆ 参 考 ◆

以下の指定内容をご使用の Web ブラウザーに 24 時間保持しております。

- ・表示項目のチェック
- ・表示項目の順序
- ・絞り込み条件
- ・並び替え条件

第 6 章 装置履歴

装置履歴画面について説明します。

※ 説明画面は管理者権限にて説明しています。権限の詳細については「第 8 章 ユーザー設定」を参照ください。

6.1 運転履歴

6.1.1 運転履歴画面の説明

運転履歴画面について説明します。

- ① 運転履歴の表示期間を設定します。
最新の履歴が一番上に表示されます。
- ② ①を指定後、「表示」をクリックすることで表示期間の運転履歴を表示します。
最新の履歴が一番上に表示されます。
- ③ 指定した期間の運転履歴を CSV ファイルに出力します。
- ④ 選択した履歴を削除します。
- ⑤ 削除する履歴を選択します。
- ⑥ リストに表示する運転履歴を絞り込みできます。
- ⑦ 履歴情報を表示します。
- ⑧ [備考]欄にコメントを入力できます。

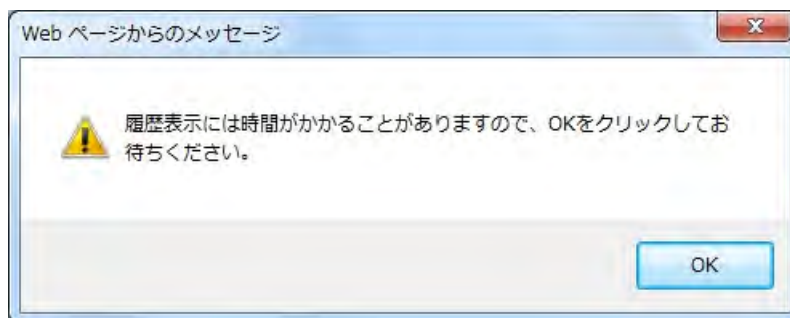
◆ 参 考 ◆

冷熱タイプの装置の運転状態が「準備中」から「試験中」に移行した場合、運転履歴に「試験中」の履歴が追加されます。その際、「準備中」に入力したコメントが「試験中」の[備考]欄にも自動的にコピーされます。

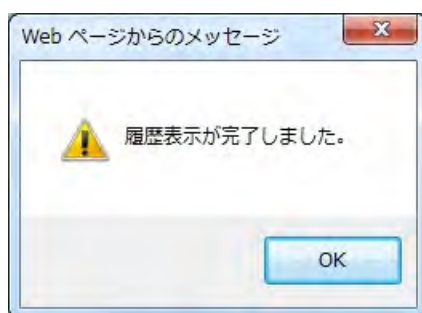
6.1.2 表示期間の入力

運転履歴の期間を設定します。

期間設定後、**表示**をクリックすると、以下のメッセージが表示されて、データベースに保存された運転履歴が表示されます。**OK**をクリックしてください。



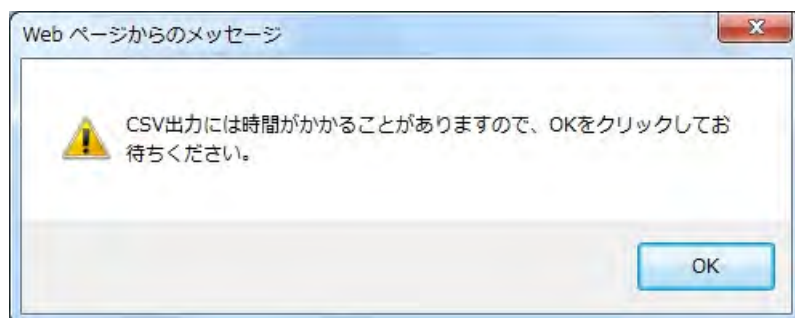
表示されたあと、以下のメッセージが表示されます。**OK**をクリックしてください。



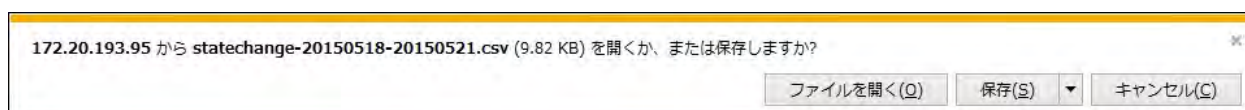
6.1.3 収録データのダウンロード

エスペックオンラインコアを起動している際は、常に装置の運転履歴を収録しています。収録データを CSV 形式（データのカンマ区切りで並べたファイル）にて、操作されている PC へダウンロードすることが可能です。ダウンロードされた CSV ファイルは、EXCEL などの表計算ソフトなどを使用して編集することができます。

ダウンロードできるデータ範囲は、表示期間を指定された範囲です。表示期間を設定した後に、**CSV 出力** をクリックしてください。以下のメッセージが表示されます。



以下の画面が表示されますので、表示またはダウンロード先を指定してください。



6.1.4 履歴データの削除

履歴データの左側のボックスをクリックして、**削除** をクリックすると、履歴データを削除できます。

削除 をクリック後に以下のメッセージが表示されます。**OK** をクリックすることで、運転履歴が削除できます。



第 7 章 スケジュール

スケジュール画面について説明します。

7.1 スケジュール画面

7.1.1 スケジュール表示の切り替え

表示切替で、選択することでスケジュールの表示方法が変わります。

表示切替

表示形式選択: ☒ 日 ☐ 週 ☐ 月

選択された表示方法で、表示されたスケジュール画面を示します。

日表示

表示切替	
表示形式選択: <input checked="" type="radio"/> 日 <input type="radio"/> 週 <input type="radio"/> 月	
日	
キー選択:	装置 <input type="text"/>
部署:	選択されていません <input type="text"/>
担当者:	選択されていません <input type="text"/>
2016/12/15	
本日	1週間前 前日 2016/12/15(木) 次日 1週間後
装置	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23
恒温恒湿器 PLJ-1	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23
小型環境試験機 SH-2	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23
リモート I/O-6017	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23
リモート I/O-6018	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23
リモート I/O-6066	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23
ネットワークカメラ A	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23
DMM Agilent-A	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23
レコーダー MT-100	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23
PLK CONV	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23
PLK PMS	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23
冷却衝撃装置 TSA-1 (CONV-L4)	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23
冷却衝撃装置 TSA-1 (PMS-CN)	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23
冷却衝撃装置 TSA-3	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23
ハイパワー恒温恒湿器 AR	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23
HASTチャンバー EHS	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23
急速温度変化チャンバー TCC	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23
Elox 純水製造装置	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23
ARF STD-J	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23
ARF 温度計	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23
ena-WC	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23
恒温恒湿器 PLJ-2	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

週表示

表示切替

表示形式選択: ●日 ●週 ●月

週

キー選択: 装置
部署: 選択されていません
担当者: 選択されていません

2016/12/15

本日	1週間前	前日	2016/12/15 ~ 2016/12/21	次日	1週間後		
装置	15 (木)	16 (金)	17 (土)	18 (日)	19 (月)	20 (火)	21 (水)
恒温恒湿器 PLJ-1	観	観	観	観	観	観	観
小型環境試験機 SH-2	観	観	観	観	観	観	観
リモートI/O-6017	観	観	観	観	観	観	観
リモートI/O-6018	観	観	観	観	観	観	観
リモートI/O-6066	観	観	観	観	観	観	観
ネットワークカメラ A	観	観	観	観	観	観	観
DMM Agilent-A	観	観	観	観	観	観	観
レコーダー MT-100	観	観	観	観	観	観	観
PLK COMV	観	観	観	観	観	観	観
PLK PMS	観	観	観	観	観	観	観
冷却衝撃装置 TSA-1 (CONV-L4)	観	観	観	観	観	観	観
冷却衝撃装置 TSA-1 (PMS-CN)	観	観	観	観	観	観	観
冷却衝撃装置 TSA-3	観	観	観	観	観	観	観
ハイパワー恒温恒湿器 AR	観	観	観	観	観	観	観
HASTチャンバー EHS	観	観	観	観	観	観	観
急速温度変化チャンバー TCC	観	観	観	観	観	観	観
Elot 純水製造装置	観	観	観	観	観	観	観
ARF STD-J	観	観	観	観	観	観	観
ARF 温度箱	観	観	観	観	観	観	観
ena-WC	観	観	観	観	観	観	観
恒温恒湿器 PLJ-2	観	観	観	観	観	観	観

月表示

表示切替

表示形式選択: ●日 ●週 ●月

月

キー選択: 装置
部署: 選択されていません
担当者: 選択されていません

2016/12/15

今日	前月	2016/12	次月				
日	月	火	水	木	金	土	
観	27	28	29	30	1	2	3
観	4	5	6	7	8	9	10
観	11	12	13	14	15	16	17
観	18	19	20	21	22	23	24
観	25	26	27	28	29	30	31
観							

7.1.2 表示スケジュールの選択

キー選択、部署、担当者を指定して、スケジュールを管理・モニターすることが可能です。以下のプルダウンバーで任意の項目を選択してください。

キー選択:	装置	▼
部署:	選択されていません	▼
担当者:	選択されていません	▼

① キーの選択

装置または試験が選択できます。

装置
試験

② 部署の選択

登録された担当者の部署が表示されます。


選択されていません
Group-A
Group-B
Group-C

③ 担当者の選択

登録された担当者が表示されます。

選択されていません
administrator
user
operator

7.2 予定の入力

スケジュールのをクリックすると、予定の追加が行えます。

7.2.1 予定編集画面

予定追加画面を以下で説明します。

- ① 登録された装置名を選択します。(装置の登録は「9.5 エスペックオンラインコアと接続する装置の選択」を参照してください。)
- ② 試験名を入力します。必須の入力項目です。
- ③ 試験色を選択します。複数の色から選択可能です。
- ④ 開始時間を設定します。
- ⑤ 終了時間を設定します。※サイクル指定は冷熱タイプ、TCC で設定できます。
- ⑥ 試験名を入力します。
- ⑦ 登録された担当者を選択します。(担当者の登録は「第8章 ユーザー設定」を参照してください。)
- ⑧ 試験条件を入力します。
- ⑨ 終了案内のメールの送信可否を設定します。
- ⑩ 終了案内の時間を設定します。
- ⑪ 送信先を登録します。※送信案内を行う場合は必ず入力が必要です。
- ⑫ 終了案内メールの件名を設定します。

- ⑬ 終了案内メールの内容を設定します。
- ⑭ 備考を 3 件まで入力できます。

◆ 参 考 ◆

試験色を編集する際に、前回選択された色がハイライト表示されることがあります。

7.2.2 予定の登録

ユーザーの権限によって、スケジュールの登録および編集時のボタン表示が異なります。

- ① 管理者権限ユーザー/他ユーザーの書換え権限有
新規作成時

保存 キャンセル

既存スケジュールの編集時

編集 削除 コピー キャンセル

- ② 他ユーザーの書換え権限なし
他ユーザーの編集時

コピー キャンセル

新規作成時

保存 キャンセル

ユーザー登録データの編集時

編集 削除 コピー キャンセル

- ③ 権限なしユーザー
予定確認時

キャンセル

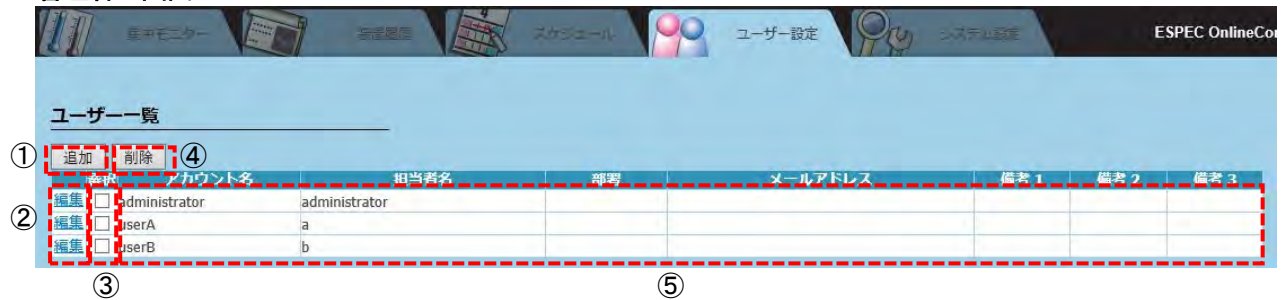
第 8 章 ユーザー設定

ユーザー設定画面について説明します。

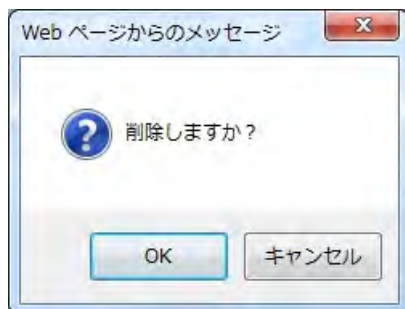
8.1 ユーザー設定画面

ユーザー設定画面は管理者権限とユーザー権限で表示が異なります。管理者権限はすべてのユーザーの設定の編集・削除が可能です。ユーザー権限はログインした当人のみ編集が可能です。

管理者の画面



- ① 新規にユーザーを登録します。
- ② 選択されたユーザーを削除します。
削除時は、以下のダイアログボックスが表示されます。



- ③ ユーザーを選択します。②の操作で選択したユーザーを削除できます。
- ④ アカウント名、担当者名、部署名、メールアドレス、備考 1～3 のユーザー情報表示画面が表示されます。
- ⑤ 登録されたユーザー情報を編集できます。

8.2 ユーザーの編集

8.2.1 管理者権限ユーザー編集画面

管理者権限でログインすると、ユーザーを新規作成・編集・削除が行えます。

- ① アカウント名です。ログインするために必要です。必須の入力項目です。
- ② パスワードです。ログインするために必要です。必須の入力項目です。
- ③ ②で入力したパスワードを再入力してください。必須の入力項目です。
- ④ 担当者名を入力してください。必須の入力項目です。
- ⑤ 部署名を入力してください。
- ⑥ メールアドレスを入力してください。
- ⑦ アカウント種別と権限を設定してください。以下の権限を付加することが可能です。

ログイン権限/画面	集中モニター	装置履歴	スケジュール	ユーザー設定	システム設定
管理者	○	○	○	○	○
ユーザー (予定の登録・編集・削除) (他ユーザーの予定変更)	△※1	△※2	○	△※5	×
ユーザー (予定の登録・編集・削除)	△※1	△※2	△※3	△※5	×
ユーザー	△※1	△※2	△※4	△※5	×

※1) 装置の移動はできません。

※2) 履歴の削除はできません。

※3) 他ユーザーのスケジュールの削除はできません。

※4) 閲覧のみ可能です。

※5) ログインしたユーザーの情報のみ編集可能です。

- ⑧ 備考を3項目入力することが可能です。

8.2.2 ユーザー権限のユーザー設定画面

ユーザー権限でログインすると、ログインした当人の情報が表示されます。

ユーザー設定							
アカウント情報							
	アカウント名	担当者名	部署	メールアドレス	備考 1	備考 2	備考 3
	user	user	Group-8	sample@espec.co.jp			

8.2.3 ユーザー権限のユーザー編集画面

ユーザー権限のユーザー編集画面では、アカウント名以外のログインした当人の情報の編集が可能です。

ユーザー追加

アカウント名 <small>必須</small>	sample	半角英数字
パスワード <small>必須</small>	●●●●●●	半角英数字
パスワード(確認用) <small>必須</small>	●●●●●●	半角英数字
担当者名 <small>必須</small>	sample	
部署		
メールアドレス 1行ごとにメールアドレスを書いてください。	sample@sample.com	半角英数字
備考 1		
備考 2		
備考 3		

保存 | キャンセル

第9章 システム設定

エスペックオンラインコアの設定について説明します。

※ システム設定は管理者権限のみが編集可能です。

◆ 参 考 ◆

- エスペックオンラインコアのシステム設定は、ネットワークに関する知識が必要です。
必要に応じて社内のネットワーク担当者にご相談のうえ、設定を行ってください。
- Web ブラウザーのセキュリティ設定によっては、ポップアップ表示などの動作がブロックされる場合があります。セキュリティ設定の変更が必要な場合は、必要に応じて社内のネットワーク担当者へご確認のうえ、Web ブラウザーのセキュリティ設定の変更を行ってください。

9.1 ネットワーク設定

エスペックオンラインコアのネットワーク設定の手順について説明します。

<手 順>

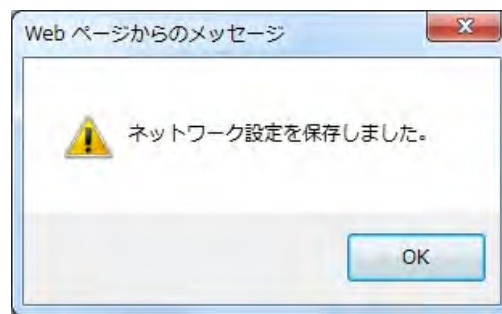
- 1) システム設定タブよりシステム設定画面を開きます。
- 2) 「ネットワーク」の項目へ各設定を入力し、**保存**をクリックします。

ネットワーク

ホスト名	<input style="width: 80%;" type="text"/>
IPアドレス	<input style="width: 80%;" type="text"/>
サブネットマスク	<input style="width: 80%;" type="text"/>
ゲートウェイ	<input style="width: 80%;" type="text"/>
DNS 1	<input style="width: 80%;" type="text"/>
DNS 2	<input style="width: 80%;" type="text"/>

注意: IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスは、電源を再投入するまで有効になりません。DNSアドレスはすぐに有効になります。

- 3) 確認メッセージが表示されますので、**OK**をクリックします。



- 4) エスペックオンラインコアの電源を OFF/ON して再起動すると設定完了です。

◆ 参 考 ◆

各項目の入力について、必要に応じて社内ネットワークご担当者の方とご相談のうえ、エスペックオンラインコアをイントラネットへ接続してください。

ネットワーク設定例

ネットワーク	
ホスト名	PCS-ES
IPアドレス	192.168.100.11
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	0.0.0.0
DNS 1	0.0.0.0
DNS 2	0.0.0.0
<input type="button" value="保存"/>	
<p>注意:IPアドレス、サブネットマスク ゲートウェイ アドレスは、電源を再投入するまで有効になり ません。DNSアドレスはすぐに有効になります。</p>	

9.2 E-Mail 設定

エスペックオンラインコアの E-Mail 設定の手順について説明します。
スケジュール登録された試験が、終了する前にメールを送信することができます。

<手 順>

- 1) システム設定タブよりシステム設定画面を開きます。
- 2) 「E-Mail」の項目から各設定を入力し、**保存**をクリックします。



E-Mail

SMTP ホスト

SMTP ポート

SMTP ユーザー

SMTP パスワード

Eメール差出人名

認証が必要

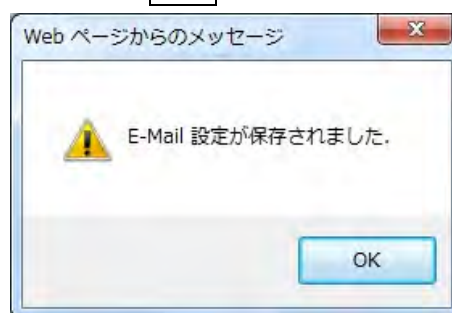
Yes ☒ No ☐

TLSを使う

Yes ☒ No ☐

保存

- 3) 確認メッセージが表示されますので、**OK**をクリックします。



◆ 参 考 ◆

SMTP 認証とは

SMTP 認証は、Simple Mail Transfer Protocol Authentication (電子メール送信用プロトコルでのユーザー識別)の略で、「メール送信をする際にお客様が持っているメール ID およびメールパスワードの認証を行わなければメール送信を行えない」という機能のことです。メールサーバーによっては設定を行ってください。

E-Mail 設定例

E-Mail

SMTP ホスト	smtp.sample.co.jp
SMTP ポート	25
SMTP ユーザー	sample_user
SMTP パスワード	●●●●●●●●
Eメール差出人名	sample@sender.co.jp

認証が必要

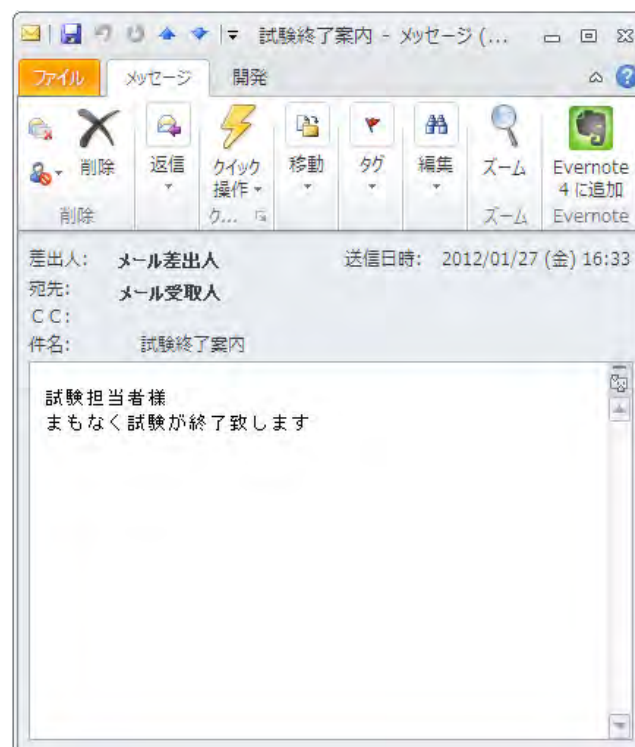
Yes ☒ No ☐

TLSを使う

Yes ☒ No ☐

保存

メール送信例



9.3 エスペックオンラインコアの時刻合わせ

9.3.1 手動での設定手順

エスペックオンラインコアに内蔵されている時計の時刻を、手動で設定する手順について説明します。

<手 順>

- 1) システム設定タブよりシステム設定画面を開きます。
- 2) 「時刻合わせ」の項目から、「手動設定」にチェックを入れます。

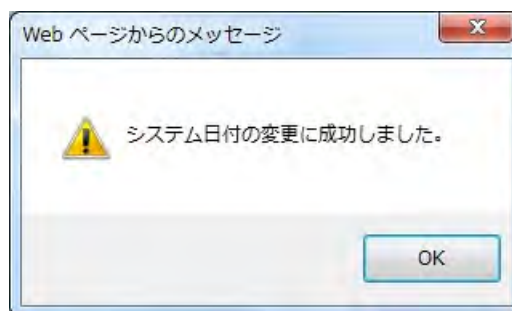


時刻合わせ

☒ 手動設定

日付 2016 - 12 - 19 時刻 9 : 48 : 10 設定

- 3) 日付、時刻をプルダウンメニューより設定してください。
- 4) 設定ができたら「設定」をクリックします。
- 5) 確認メッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。



9.3.2 時刻サーバと同期させる手順

エスペックオンラインコアに内蔵されている時計の時刻を、時刻サーバと同期させる手順について説明します。

<手 順>

- 1) システム設定タブよりシステム設定画面を開きます。
- 2) 「時刻合わせ」の項目から、「時刻サーバと同期」にチェックを入れます。



時刻合わせ

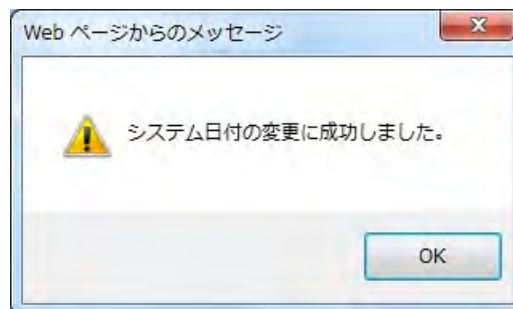
☐ 手動設定

日付 2016 - 12 - 19 時刻 10 : 3 : 4 設定

☒ 時刻サーバと同期

時刻サーバURL: ntp.nict.jp 同期

- 3) 時刻サーバ URL: に時刻サーバの URL を入力します。
- 4) 入力ができたら同期をクリックします。
- 5) 確認メッセージが表示されますので、OKをクリックします。



◆ 参 考 ◆

日本標準時プロジェクト 公開 NTP: ntp.nict.jp

NTP とは、Network Time Protocol の略で、コンピューターの時刻を合わせるプロトコル(規格)です。

エスペックオンラインコアの時刻はリアルタイムクロック(RTC)によって表示されていますが、この時刻は誤差があり、毎日少しずつ時刻がずれていきます。

ネットワーク上に基準となる時刻情報を保有するサーバー(NTP サーバー)を設置し、そのサーバーを基準として、エスペックオンラインコアの内部時計をそのサーバーの時刻と一致させることにより、ネットワーク上のエスペックオンラインコアに同じ時刻を設定します。

もしエスペックオンラインコアの時刻がずれていると、メールの送信時刻がずれたり、収録データの取得時刻などもずれてくることになります。

NTP サーバーはインターネット上に公的なサーバーがあり、そこからデータを取得することができます。もしくは、企業によって社内イントラネット内に NTP サーバーをお持ちの場合もあります。

また NTP では、UTC(協定世界時)にて時刻を合わせるため、使用される国によって時差(タイムゾーン)を設定する必要があります。

9.3.3 タイムゾーンを合わせる手順

エスペックオンラインコアの時刻のタイムゾーンを設定します。

<手 順>

- 1) システム設定タブよりシステム設定画面を開きます。
- 2) 「タイムゾーン」の項目から、タイムゾーンをプルダウンメニューより選択し、タイムゾーンの変更をクリックします。



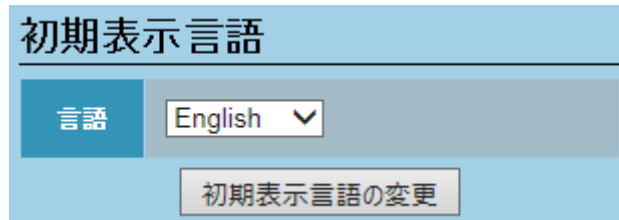
- 3) エスペックオンラインコアの「システム設定画面」の再起動または、本体の電源を OFF/ON し、再起動してください。

9.4 初期表示言語を設定する

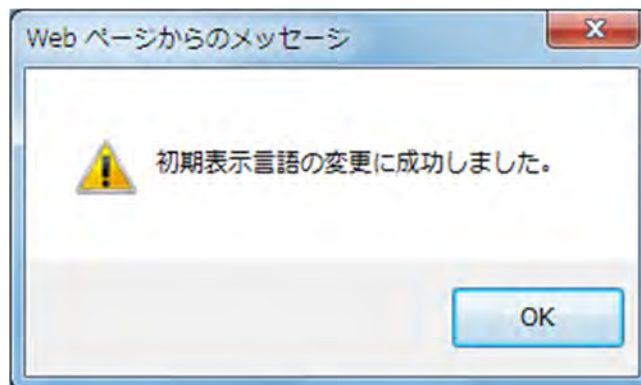
Web ブラウザーで表示した際の言語を設定する手順について説明します。

<手 順>

- 1) システム設定タブよりシステム設定画面を開きます。
- 2) 「初期表示言語」の項目から、設定する言語をプルダウンメニューより選択し、**初期表示言語**の変更をクリックします。



- 3) 確認メッセージが表示されますので、**OK**をクリックします。



◆ 参 考 ◆

画面右上の言語切替で設定した言語は、ご使用の Web ブラウザーに 24 時間保持しております。前回 Web ブラウザーで表示してから 24 時間以上経過した場合、初期表示言語で設定している言語で表示します。(工場出荷状態: English)

9.5 エスベックオンラインコアと接続する装置の選択

9.5.1 装置設定画面

装置設定画面について説明します。

No.	装置名	機種	システム名	IPアドレス	アドレス	通信規格	管理部署	管理者	備考 1	備考 2	備考 3
1	ブラチナス-J	ブラチナス-J 温度制御有り	Webマネージャ WMA-S1D	172.20.193.59		モニタリング中					
2	小型恒温試験機(P-200)	小型恒温試験機 温度有り SH-2	Webアプリケーション P200X	172.20.0.214		モニタリング中					
3	冷熱 TSA-3	冷熱 TSA-3	Webアプリケーション P300X	172.20.193.159		モニタリング中					
4	ブラチナス-K	ブラチナス-K 温度制御有り	エスベックオンラインコンバーター PNG-CN	1.1.1.1		モニタリング中					
5	ブラチナスJ(P310)	ブラチナス-J(NH746 P310) 温度制御有り	Webアプリケーション P300X	172.20.0.213		モニタリング中					
6	ブラチナス-A	ブラチナス-K 温度制御有り	RS-485 LANコンバーター CONV-L4	172.20.193.58	2	モニタリング中					
7	温度付き冷熱	冷熱 TSA-1	エスベックオンラインコンバーター PNG-CN	172.20.193.127		モニタリング中					
8	冷熱	Agilent製34410A	デジタルマルチメーター	172.20.193.65		モニタリング中					
9	冷熱	EIAC製ファンパー (温度付き)	HIFLEX NEO	172.20.193.99		モニタリング中					

- ① 新しく装置を追加できます。
- ② [編集]をクリックすると装置の設定内容を編集できます。
- ③ 選択された装置を削除できます。
- ④ 削除する装置を選択します。選択した装置は③の操作にて削除できます。
- ⑤ 装置の並び替えができます。
- ⑥ 登録されている装置の情報を一覧表示します。

◆ 参 考 ◆

- 装置を登録してから、集中モニター画面で運転状態などを表示するのに数分かかる場合があります。その間「lan error」等が表示されますが、故障ではありません。
- オンラインコアに接続する装置は Ethernet の通信設定を対象製品の取説説明書を参考に設定してください。
- オンラインコンバーターに接続する装置は RS-485 の通信設定を対象製品の取説説明書を参考に設定してください。
- オンラインコンバーターの接続方法は、オンラインコンバーターの取扱説明書を見てください。

9.5.2 装置編集画面

装置編集画面について説明します。

- ① 装置名が入力できます。必須の入力項目です。
- ② 機種が選択できます。機種には以下の種類があります。

機種	機種設定詳細
プラチナス-K 湿度制御有り	プラチナス K シリーズで、型式が下記で始まる場合は選択してください。 PH、PR、PL、PSL、PCR、PWL、PFL、PVL、PVS
プラチナス-K	プラチナス K シリーズで上記以外の型式の場合はこちらを選択してください。
プラチナス-J 湿度制御有り	プラチナス J シリーズで、型式が下記で始まる場合は選択してください。 PR、PL、PSL、PHP、PDR、PDL、PCR
プラチナス-J	プラチナス J シリーズで上記以外の装置型式の場合はこちらを選択してください。
プラチナス-J (N 計装 P310) 湿度制御有り	プラチナス J シリーズで、型式、製造番号が下記で始まる場合は選択してください。 型式: PR、PL、PSL、PHP、PDR、PDL、PCR 製造番号: 15010000 以降
プラチナス-J (N 計装 P310)	プラチナス J シリーズで、型式、製造番号が下記で始まる場合は選択してください。 型式: PU、PG 製造番号: 15010000 以降
小型環境試験器 湿度有り SH-1	型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 SH-221、241、261、641、661
小型環境試験器 SU-1	型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 SU-221、241、261、641、661

機種	機種設定詳細
小型環境試験器 湿度有り SH-2	型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 SH-222、242、262、642、662
小型環境試験器 SU-2	型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 SU-222、242、262、642、662
ライトスペック 湿度有り LH-3	型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 LH-113、LHL-113、LHU-113、LHU-123
ライトスペック LU-3	型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 LU-113、LU-123
ライトスペック 湿度有り LH-4	型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 LH-114、LHL-114、LHU-114、LHU-124
ライトスペック LU-4	型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 LU-114、LU-124
ビルドイン H 湿度有り	ビルドインチャンバーHシリーズの装置型式が下記で始まる場合は選択してください。 TBE、TBL、TBR EBE、EBL、EBR
ビルドイン H	上記以外のビルドインチャンバーHシリーズを接続する場合は選択してください。
ビルドイン E 湿度有り	ビルドインチャンバーEシリーズの装置型式が下記で始まる場合は選択してください。 TBE、TBL、TBR EBE、EBL、EBR
ビルドイン E	上記以外のビルドインチャンバーEシリーズを接続する場合は選択してください。
オープン	型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 PV(H)-212、222、232、332、 PV(H)C-212、232、332 PVHC-232MS、332MS、 SPH(H)-102、202、302、402、 SSPH-102、202、STPH-102、202、 (H)LKS-3C、4C、GPH(H)-102、202、 IPH(H)-202、PH(H)-102、202、302、402
真空乾燥器 LCV-4	型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 LCV-234、244
ミニサブゼロ MC-1P	型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 MC-711P、811P
ミニサブゼロ MC-2	型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 MC-712、812
ミニサブゼロ MC-2R	型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 MC-712R、812R
AR 湿度有り	ハイパワー恒温(恒湿)器 AR シリーズの計装が P 計装で、型式が下記で始まる場合は選択してください。 ARL-0680、ARL-1100、ARS-0220、ARS-0390、ARS-0680、ARS-1100
AR	ハイパワー恒温(恒湿)器 AR シリーズの計装が P 計装で、型式が下記で始まる場合は選択してください。 ARU-0680、ARU-1100、ARG-0220、ARG-0390、ARG-0680、ARG-1100

機種	機種設定詳細
AR(N計装)湿度有り	ハイパワー恒温(恒湿器)ARシリーズで計装がN計装で、型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 ARL-0680、ARL-1100、ARS-0220、ARS-0390、ARS-0680、ARS-1100
AR(N計装)	ハイパワー恒温(恒湿器)ARシリーズで計装がN計装で、型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 ARU-0680、ARU-1100、ARG-0220、ARG-0390、ARG-0680、ARG-1100
AR-5/10/15(N計装)湿度有り	型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 ARS-0680-5、ARS-1100-5、ARS-0680-15、ARS-1100-10
AR-5/10/15(N計装)	型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 ARG-0680-5、ARG-1100-5、ARG-0680-15、ARG-1100-10
AR(急速温度変化)湿度有り	型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 ARSF
AR(急速温度変化)	型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 ARGF
中型 SM-2 湿度有り	中型恒温恒湿器の、型式が下記で始まる場合は選択してください。 SML-2、SMS-2
中型 SM-2	中型恒温恒湿器の、型式が下記で始まる場合は選択してください。 SMU-2、SMG-2
中型 SM-21 湿度有り	中型恒温恒湿器の、型式が下記で始まる場合は選択してください。 SML-21、SMS-21
中型 SM-21	中型恒温恒湿器の、型式が下記で始まる場合は選択してください。 SMU-21、SMG-21
冷熱 TSA-1	型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 TSA-41L、71L、71S、71H、101L、101S、201S、301L
冷熱 TSA-2(EL)	型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 TSA-42EL、72EL、102EL、202EL、302EL
冷熱 TSA-2(ES/EH)	型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 TSA-72ES、72EH、102ES、202ES
冷熱 TSA-3	型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 TSA-43EL、73EL、103EL、203EL、303EL、73ES、73EH、103ES、203ES
液槽冷熱 TSB-1	型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 TSB-21、51
液槽冷熱 TSB-2	型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 TSB-22、52
冷熱 TSD-0	型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 TSD-100
冷熱 TSD-1	型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 TSD-101
小型冷熱 TSE-1	型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 TSE-11-A
小型冷熱 TSE-2	型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 TSE-12-A
安定性試験器 CSH-2	型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 CSH-112、112HG、122、122HG、132、132HG
安定性試験室 CWH	型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 CWH-20A、30A、40A

機種	機種設定詳細
低温恒温恒湿器 CRH-2	型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 CRH-212、222、232
グローバル N 湿度制御有り	湿度制御有りのグローバル N 装置の場合は選択してください。
グローバル N	湿度制御無しのグローバル N 装置の場合は選択してください。
SE 湿度有り	湿度制御有りの SE 装置の場合は選択してください。
SE	湿度制御無しの SE 装置の場合は選択してください。
SEW 湿度有り	湿度制御有りの SEW 装置の場合は選択してください。
SEW	湿度制御無しの SEW 装置の場合は選択してください。
GP 湿度有り	湿度制御有りの GP 装置の場合は選択してください。
GP	湿度制御無しの GP 装置の場合は選択してください。
GF 湿度有り	湿度制御有りの GF 装置の場合は選択してください。
GF	湿度制御無しの GF 装置の場合は選択してください。
HAST チャンバー EHS	型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 EHS-211(M)、211MD、221(M)、221MD、411(M)、411MD EHS-212(M)、212MD、222(M)、222MD、412(M)、412MD
急速温度変化チャンバー TCC-0	型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 TCC-150W
急速温度変化チャンバー TCC-1	型式が下記の装置を接続する場合は選択してください。 TCC-151W
Vötsch 製チャンバー	湿度制御無しの Simpac 搭載装置の場合は選択してください。
Vötsch 製チャンバー(湿度付き)	湿度制御有りの Simpac 搭載装置の場合は選択してください。
Advantech 製 ADAM-6017	アドバンテック製リモート I/O 型式 ADAM-6017 の場合は選択してください。
Advantech 製 ADAM-6018	アドバンテック製リモート I/O 型式 ADAM-6018 の場合は選択してください。
Advantech 製 ADAM-6060	アドバンテック製リモート I/O 型式 ADAM-6060 の場合は選択してください。
Advantech 製 ADAM-6066	アドバンテック製リモート I/O 型式 ADAM-6066 の場合は選択してください。
ETAC 製チャンバー	ETAC 製低温恒温器でイーサネットを装備している機種
ETAC 製チャンバー(湿度付き)	ETAC 製低温恒温恒湿器でイーサネットを装備している機種
WEB カメラ (WEB マネージャー接続)	WEB マネージャーに接続した Web カメラの場合は選択してください。
Canon 製 VB-C10	キヤノン製ネットワークカメラ 型式 VB-C10 の場合は選択してください。
Canon 製 VB-M40/VB-M42	キヤノン製ネットワークカメラ 型式 VB-M40/VB-M42 の場合は選択してください。
Canon 製 VB-M40B/VB-M42B	キヤノン製ネットワークカメラ 型式 VB-M40B/VB-M42B の場合は選択してください。
Panasonic 製 BB-HCM531	パナソニック製ネットワークカメラ 型式 BB-HCM531 の場合は選択してください。
Agilent 製 34410A	アジレントテクノロジー製デジタルマルチメーター 型式 34410A の場合は選択してください。

機種	機種設定詳細
Agilent 製 34411A	アジレントテクノロジー製デジタルマルチメーター 型式 34411A の場合は選択してください。
Graphtec 製 MT-100	グラフテック製レコーダー 型式 MT-100 の場合は選択してください。
メルクミリポア製 ELIX Essential UV	メルクミリポア製純水製造装置 型式 ELIX UV の場合は選択してください。
その他	計測器などの機器を登録して、スケジュール管理に利用することができます。集中モニター画面に表示することはできません。

◆ 参 考 ◆

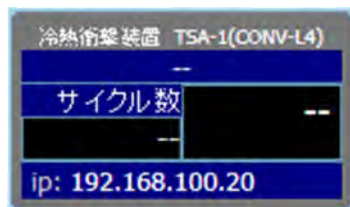
機種が同じでもカスタム仕様により接続できない場合があります。接続が可能かはお問い合わせください。
ETAC 製チャンバーを接続する場合は、以下の設定が必要です。

- ・ETAC 製チャンバーの設定画面で、以下ユーザーを追加
ユーザー名: espec、ログイン ID: espec、パスワード: (任意)
- ・エスペックオンラインコアでの ETAC 製チャンバーで設定したパスワードを入力

③ システムを選択してください。選択できるシステムを以下に示します。

システム名	システム名詳細
WEB マネージャー WMA-STD	WEB マネージャー温湿度タイプを接続する場合は選択してください。
WEB マネージャー WMA-TS	WEB マネージャー冷熱タイプを接続する場合は選択してください。
WEB マネージャー WMA-Multi	WEB マネージャーマルチタイプを接続する場合は選択してください。
Web アプリケーション P2***	小型環境試験器**2 シリーズなど N 計装 P-200 搭載器を接続する場合は選択してください。
RS-485 LAN コンバーター CONV-L4	RS-485 LAN コンバーター CONV-L4 を接続する場合は選択してください。
Web アプリケーション P3***	冷熱衝撃装置 TSA**3 シリーズなど N 計装 P-310 搭載器を接続する場合は選択してください。
Web サポート PN5-L4	Web サポート PN5-L4 を接続する場合は選択してください。
エスペックオンラインコンバーター PN5-CN	エスペックオンラインコンバーターを接続する場合は選択してください。
Web コントローラー	Web コントローラーを接続する場合は選択してください。
ネットワークカメラ	ネットワークカメラを接続する場合は選択してください。
Web カメラ	WEB マネージャー搭載の Web カメラを接続する場合は選択してください。
Simpac	Simpac 搭載製品を接続する場合は選択してください。
HIFLEX NEO	ETAC 製低温恒温(恒湿)器を接続する場合は選択してください。
デジタルマルチメーター	デジタルマルチメーターを接続する場合は選択してください。
リモート I/O	リモート I/O を接続する場合は選択してください。
レコーダー	レコーダーを接続する場合は選択してください。
純水製造装置	純水製造装置を接続する場合は選択してください。

- ④ P-200/P-310 計装搭載器を接続する場合、ログインパスワードを入力してください。
- ⑤ 接続するシステムの IP アドレスを入力してください。
- ⑥ WEB マネージャーマルチタイプ (WMA-Multi) の場合は、RS-485 通信のアドレスを設定してください。
- ⑦ 接続の有無を設定してください。接続しない場合は集中モニター画面に装置ボックスが濃いグレーで表示されます。

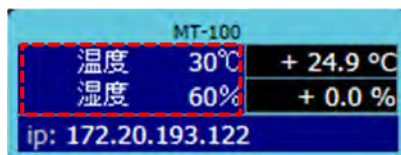


- ⑧ 管理部署を登録することができます。
- ⑨ 管理者を登録することができます。
- ⑩ 備考を 1～3 まで入力することができます。

機種で「Graphtec 製 MT-100」を選択した場合、装置編集画面は以下のようになります。

ch	表示	ラベル1	ラベル2
1	<input checked="" type="checkbox"/>	温度	-40℃
2	<input checked="" type="checkbox"/>	湿度	OFF
3	<input type="checkbox"/>		
4	<input type="checkbox"/>		
5	<input type="checkbox"/>		
6	<input type="checkbox"/>		
7	<input type="checkbox"/>		
8	<input type="checkbox"/>		
9	<input type="checkbox"/>		
10	<input type="checkbox"/>		

各 ch に2つのラベルを設定できます。
ch 名や設定値を入力することで1台の装置イメージでの表示が可能です。



- ⑪ 集中モニター画面に表示する装置画像を任意に登録することができます。

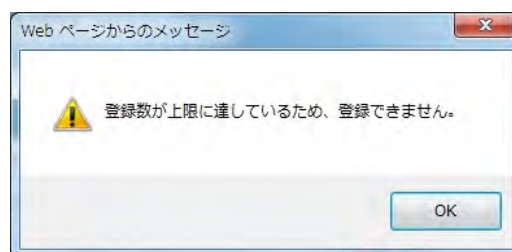
9.5.3 装置登録、編集の手順

エスペックオンラインコアと接続する装置の登録、編集手順について説明します。

<手 順>

- 1) システム設定タブよりシステム設定画面を開きます。
- 2) 画面下部の「装置設定」をクリックします。
- 3) 装置設定画面が表示されます。
追加もしくは編集をクリックした場合は、画面下部のコピーをクリックすると入力内容をコピーして他の装置として追加することができます。
- 4) 装置編集画面が表示されますので「装置名」を入力してください。
- 5) 接続する機種をプルダウンメニューから選択してください。
- 6) システム名は機種を選択するとその装置に対応したシステムが表示されます。
表示されたシステムを変更したい場合はプルダウンメニューから選択してください。
- 7) システムパスワードを入力します。
- 8) IP アドレスを入力します。
- 9) アドレスを設定します。
- 10) 接続するかどうかを設定します。
- 11) 管理部署、管理者、備考 1～3 を入力することができます。
- 12) 集中モニター画面に表示する装置画像を任意に登録することができます。
参照をクリックし、任意の画像ファイルを選択してください。
選択したファイルを解除したいときはクリアをクリックしてください。
- 13) 入力が終わりましたら保存をクリックしてください。

登録可能な台数は 100 台です。集中画面に表示されない、その他の装置も含みます。
100 台以上登録しようすると以下のメッセージが表示されて、登録できません。



◆ 参 考 ◆

装置画像について

登録できるファイルは png、bmp、jpg、gif です。
画像以外のファイル(txt、xls 等)を登録した場合は×が表示されます。
登録した画像は保存するまで反映されません。

9.5.4 並び替え

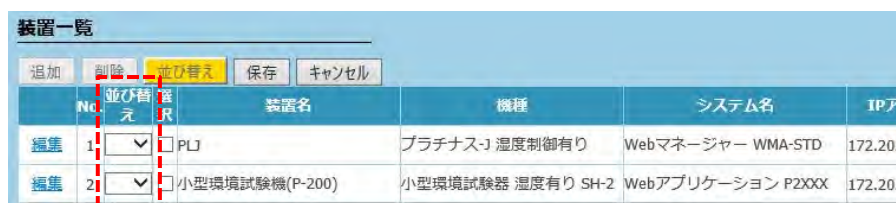
装置の表示順番の並び替えについて説明します。

<手順>

- 1) **並び替え** をクリックします。



- 2) **[並び替え]**項目が表示されます。



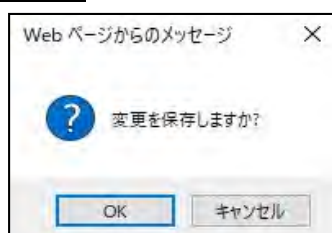
- 3) 並び替える装置の**[並び替え]**欄のプルダウンから、移動先の番号を選択します。
並び替えは同時に複数件数変更できます。



- 4) 移動先の番号を選択すると、並び変えの位置で黄色表示します。



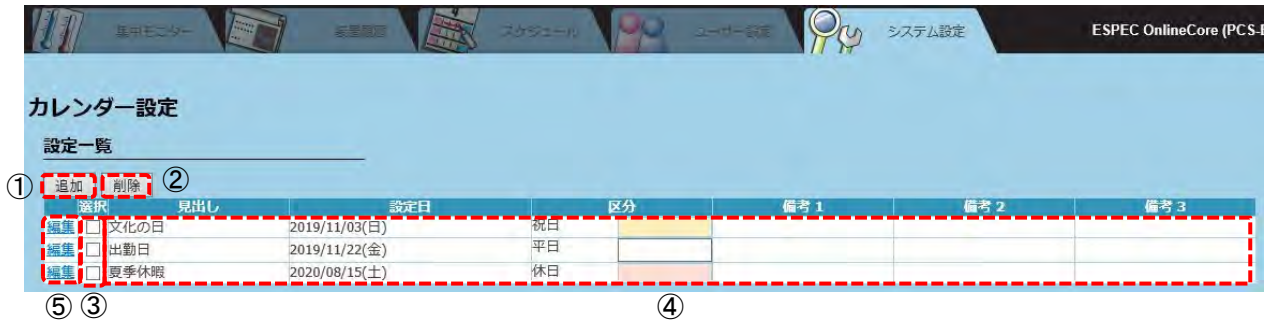
- 5) **保存** をクリックすると、以下のメッセージが表示され、**OK** をクリックすると保存されます。



9.6 エスペックオンラインコアのカレンダー設定

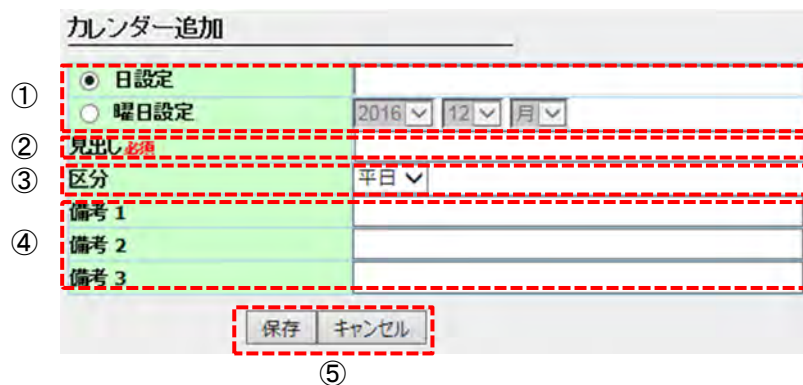
9.6.1 カレンダー設定画面

カレンダー設定画面について説明します。
スケジューラーに表示させる休日等を設定することができます。



- ① 新規に日付を登録できます。
- ② 選択された日付を削除できます。
- ③ 日付情報が選択できます。②の操作で選択した日付を削除できます。
- ④ 日付一覧表示画面です。見出し、設定日、区分、備考 1～3 が表示されます。
- ⑤ **編集**用のリンクです。このリンクをクリックすると、カレンダー編集画面が開き、日付の設定内容を編集できます。

9.6.2 カレンダー編集画面



- ① スケジューラーに表示する休日等の、日付または曜日を設定することができます。
- ② 休日等の見出しを設定します。必須の入力項目です。
- ③ 区分を設定します。平日、休日、祝日が設定できます。
- ④ 備考を 1～3 まで入力することができます。
- ⑤ **保存**、**キャンセル**をクリックすることで、編集が完了します。

9.7 バックアップ設定

エスペックオンラインコアのバックアップ設定について説明します。
エスペックオンラインコアのデータを指定の FTP サーバーへバックアップすることができます。

定期実行を設定することで、1日に1回バックアップすることができます。また、手動でバックアップを実行することもできます。

バックアップファイルからエスペックオンラインコアのデータを復旧することができます。

<画面の説明>

バックアップ設定

① 実行設定

定期実行

☒ ON
 ☐ OFF

② 転送先設定

FTPサーバーアドレス

192.168.100.12

FTPポート番号

21

FTPユーザー名

ftpuser

FTPパスワード

●●●●●

保存フォルダ名

backup_dir

保存

手動実行

③ バックアップ履歴

最終バックアップ日時

2020/05/29 03:00:46 (定期実行)

バックアップ実行履歴

No.	日時	実行	結果
1	2020/05/29 03:00:46	定期実行	成功
2	2020/05/28 03:00:47	定期実行	成功
3	2020/05/27 03:00:51	定期実行	成功
4	2020/05/26 03:00:47	定期実行	成功
5	2020/05/25 03:00:47	定期実行	成功

④ データ復旧

復旧

- | | |
|------------|---|
| ① 実行設定 | バックアップを定期的に実行するかを設定します。 |
| ② 転送先設定 | バックアップファイルの転送先の FTP サーバーを設定します。
[手動実行] をクリックすると、手動でバックアップを実行します。 |
| ③ バックアップ履歴 | |
| 最終バックアップ日時 | 最後にバックアップに成功した日時を表示します。 |
| バックアップ実行履歴 | バックアップの実行履歴を表示します(直近5回分) |
| ④ データ復旧 | [復旧] をクリックすると、ファイルアップロード画面が表示されます。 |

＜バックアップ設定手順＞

実行設定

- 1) [定期実行]の ON /OFF を選択します。
ON: 定期実行を行う
OFF: 定期実行を行わない

転送先設定

- 1) バックアップファイルの転送先 FTP サーバーを入力します。
FTP サーバーアドレス
FTP ポート番号
FTP ユーザー名
FTP パスワード
保存フォルダ名
- 2) 入力完了後、**保存**をクリックします。

＜バックアップの実行手順＞

定期実行

- ・ 1日に1回成功するまで、3:00～23:00 の間に1時間おきに実行します。

手動実行

- ・ **手動実行**をクリックすると、バックアップを実行します。

◆ 参 考 ◆

バックアップ実行結果はバックアップ履歴で確認できます。

バックアップファイル

- ・ 転送先 FTP サーバーの指定したフォルダにバックアップファイルが保存されます。
- ・ バックアップファイル名は「*pcses_X_X_X_backup.espec*」の形式です(「X_X_X」にはバージョン表記が入ります)。
- ・ 以下のデータはバックアップデータに含まれません。
 - ・ システム設定の[ネットワーク]設定情報
 - ・ サンプルングデータ

<データ復旧手順>

データ復旧を実行すると、エスペックオンラインコアのデータがバックアップファイルのデータで上書きされますのでご注意ください。

- 1) 転送先 FTP サーバーに保存されているバックアップファイルを作業用 PC に保存します。
- 2) **復旧** をクリックすると、ファイルアップロード画面が表示されます。

ファイル アップロード

アップロードするファイルを選択:
 [参照...](#)

アカウント名:

パスワード:

- 3) **参照** をクリックしてバックアップファイルを指定し、**アップロード** をクリックします。
 ファイルアップロードの手順については、「第 11 章 ファイルアップロード」を参照してください。
- 4) ファイルアップロードが完了すると、システム設定の[機器情報]の[更新履歴]に追記されます。

機器情報		
ファイルアップロード		
更新履歴		
No.	更新日時	更新内容
1	2020/04/02 15:57:57	システム更新
2	2020/04/02 16:26:20	システム更新
3	2020/04/13 17:38:20	システム更新
4	2020/04/13 17:41:52	システム更新
5	2020/04/13 18:05:12	システム復旧

◆ 参 考 ◆

ファイルアップロードの方法については、「第11章 ファイルアップロード」を参照してください。

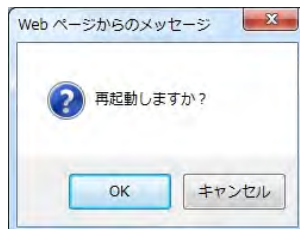
- 更新履歴 : アップロードの履歴が確認できます。
- アドオンコード : オンラインコアのアドオンの状況を示しています。
- MAC アドレス : オンラインコアの MAC アドレスを表示します。
- 電源 ON 履歴 : 電源 ON を行った日時を表示します。

9.9 本体の再起動、シャットダウン

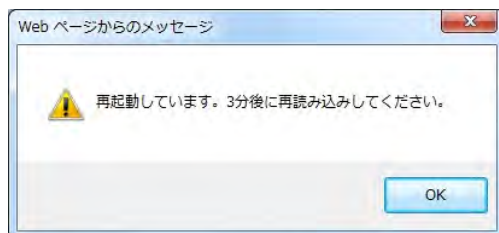
エスペックオンラインコア本体の再起動、電源の OFF を行います。
本内容は管理者設定された人が、使用できます。

① 再起動押下時

エスペックオンラインコアを再起動するときに再起動をクリックします。

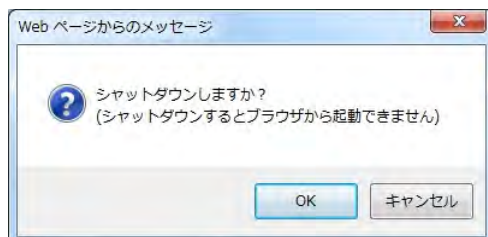


OK をクリックすると、
次のコメントが表示されます。

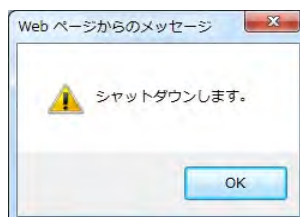


② シャットダウン押下時

エスペックオンラインコアの電源を OFF するときにシャットダウンをクリックします。



OK をクリックすると、
次のコメントが表示されます。



◆ お願い ◆

再起動中、およびシャットダウンを行うと、通信はできません。

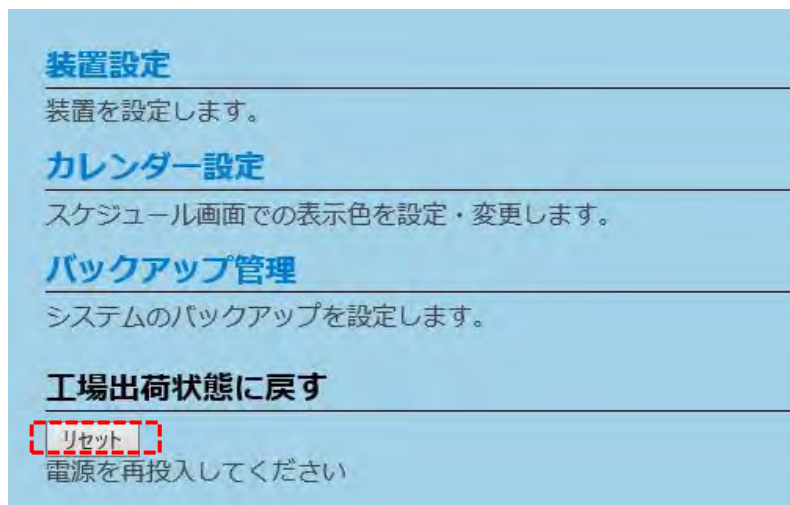
9.10 工場出荷状態に戻す

◆ 参 考 ◆

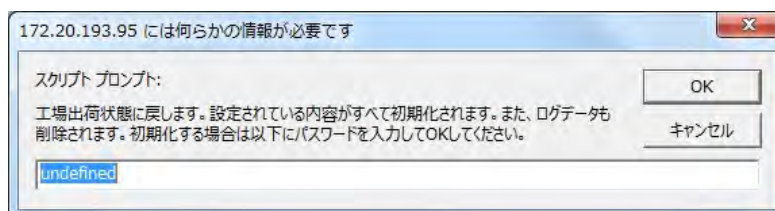
- この操作を行うと、エスペックオンラインコアの状態が工場出荷状態に戻ります。
- お客様で設定した装置情報、スケジュール情報、ユーザー情報、E-Mail 情報や、装置履歴情報など全ての情報が消去され、元に戻すことはできません。
IP アドレスを忘れた場合など、緊急以外は使用しないでください。

<手 順>

- 1) 「工場出荷状態に戻す」の項目にある「リセット」をクリックします。

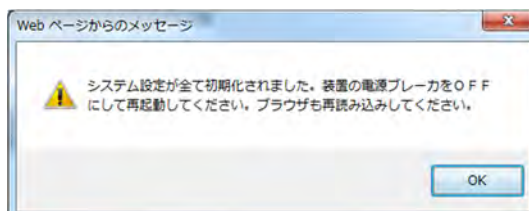


- 2) 「OK」をクリックすると、初期化が行われます。



※初期化する場合は、正しいパスワードを入力し、「OK」をクリックしてください。

- 3) 初期化が終わると、次のコメントが表示されます。

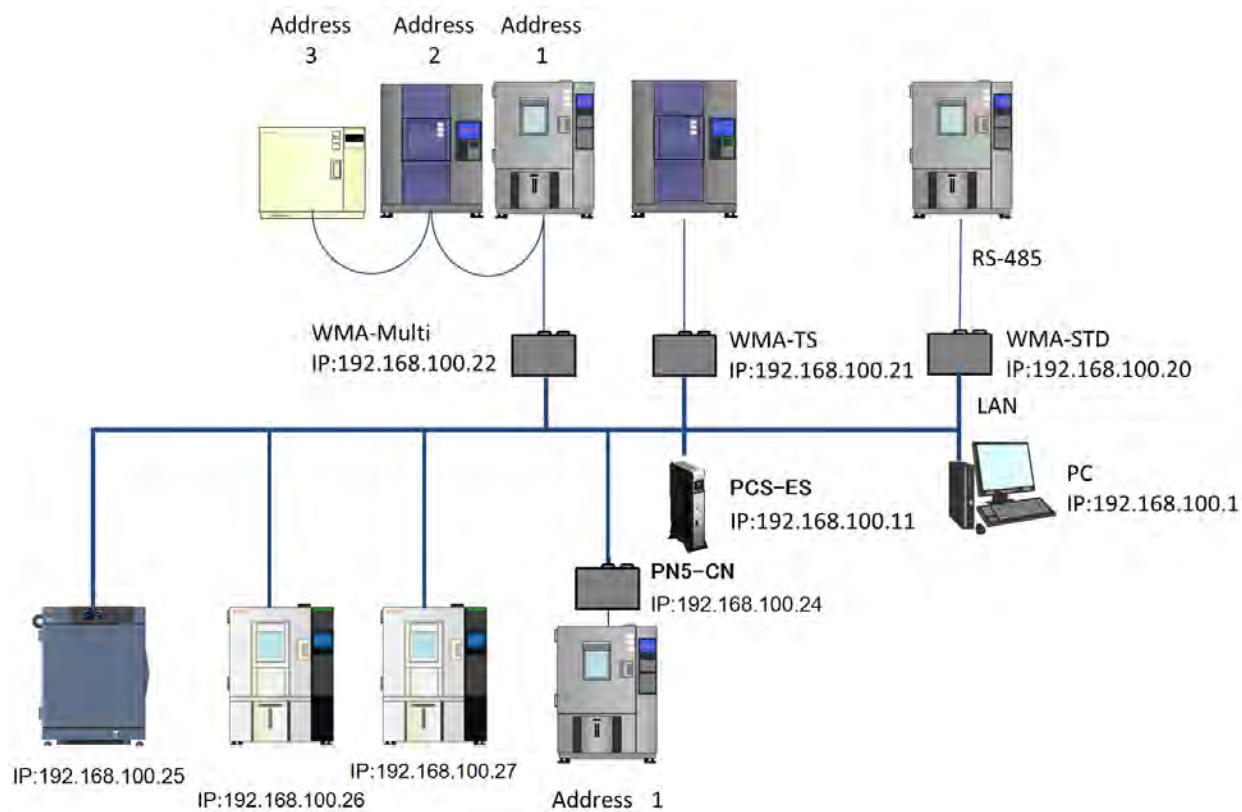


- 4) 初期化後は、「3.1 セットアップ手順」に従って再設定してください。

第 10 章 接続例

エスペックオンラインコアの接続例について説明します。

10.1 接続例



上図を参考に、装置編集画面の設定例を示します。

WEB マネージャー WMA-STD IP:192.168.100.20 の設定例

装置追加	
装置名 <small>必須</small>	Test1
機種	プラチナス-K 湿度制御有り
システム名	Webマネージャー WMA-STD
システムパスワード	<small>半角英数字</small>
IPアドレス	192.168.100.20
アドレス	
接続	<input checked="" type="checkbox"/>
管理部署	
管理者	
備考 1	
備考 2	
備考 3	
画像	<div>参照...</div> <div>クリア</div> <div>未選択</div>
<div>保存</div> <div>キャンセル</div>	

WEB マネージャー WMA-TS IP:192.168.100.21 の設定例

装置追加	
装置名 <small>必須</small>	Test2
機種	冷熱 TSA-1
システム名	Webマネージャー WMA-TS
システムパスワード	<small>半角英数字</small>
IPアドレス	192.168.100.21
アドレス	
接続	<input checked="" type="checkbox"/>
管理部署	
管理者	
備考 1	
備考 2	
備考 3	
画像	<div>参照...</div> <div>クリア</div> <div>未選択</div>
<div>保存</div> <div>キャンセル</div>	

WEB マネージャー WMA-Multi IP:192.168.100.22 Address3 の設定例

装置追加	
装置名 <small>必須</small>	Test3
機種	オープン
システム名	Webマネージャー WMA-Multi
システムパスワード	<small>半角英数字</small>
IPアドレス	192.168.100.22
アドレス	3
接続	<input checked="" type="checkbox"/>
管理部署	
管理者	
備考 1	
備考 2	
備考 3	
画像	<div>参照...</div> <div>クリア</div> <div>未選択</div>
<div>保存</div> <div>キャンセル</div>	

エスペックオンラインコンバーター PN5-CN IP:192.168.100.23 の設定例

装置追加	
装置名 <small>必須</small>	Test4
機種	プラチナス-K 湿度制御有り
システム名	エスペックオンラインコンバーター PN5-CN
システムパスワード	<small>半角英数字</small>
IPアドレス	192.168.100.23
アドレス	
接続	<input checked="" type="checkbox"/>
管理部署	
管理者	
備考 1	
備考 2	
備考 3	
画像	<div>参照...</div> <div>クリア</div> <div>未選択</div>
<div>保存</div> <div>キャンセル</div>	

N 計装 P-200 搭載機器 IP:192.168.100.24 の設定例

装置追加	
装置名 <small>必須</small>	Test5
機種	小型環境試験器 湿度有り SH-2
システム名	Webアプリケーション P2XXX
システムパスワード	<small>半角英数字</small>
IPアドレス	192.168.100.24
アドレス	
接続	<input checked="" type="checkbox"/>
管理部署	
管理者	
備考 1	
備考 2	
備考 3	
画像	<div>参照...</div> <div>クリア</div> <div>未選択</div>
<div>保存</div> <div>キャンセル</div>	

N 計装 P-300 搭載機器 プラチナス J シリーズ 製造番号:15009999 以前の場合
IP:192.168.100.25 の設定例

装置追加	
装置名 <small>必須</small>	Test6
機種	プラチナス-J 湿度制御有り
システム名	Webマネージャー WMA-STD
システムパスワード	<small>半角英数字</small>
IPアドレス	192.168.100.25
アドレス	
接続	<input checked="" type="checkbox"/>
管理部署	
管理者	
備考 1	
備考 2	
備考 3	
画像	<div>参照...</div> <div>クリア</div> <div>未選択</div>
<div>保存</div> <div>キャンセル</div>	

N 計装 P-310 搭載機器 プラチナス J シリーズ 製造番号: 15010000 以降で始まる場合
IP: 192.168.100.26 の設定例

装置追加	
装置名 <small>必須</small>	Test7
機種	プラチナス-J(N計装 P310) 温度制御 ▼
システム名	Webアプリケーション P3XXX ▼
システムパスワード	<small>半角英数字</small>
IPアドレス	192.168.100.26
アドレス	▼
接続	<input checked="" type="checkbox"/>
管理部署	
管理者	
備考 1	
備考 2	
備考 3	
画像	<div>参照...</div> <div>クリア</div> <div>未選択</div>
<div>保存</div> <div>キャンセル</div>	

第 11 章 ファイルアップロード

エスペックオンラインコアのファイルアップロード手順について説明します。ファイルのアップロードによって、バージョンアップやアドオン(機能追加)などを行うことができます。

11.1 ファイルアップロード手順

バージョンアップファイルは、当社HPの Test Navi から下記サイトへ移動してダウンロードしてください。
製品会員専用サイト/エスペックオンラインサポート会員専用サイト

◆ 参 考 ◆

ファイルをアップロードするには、エスペックオンラインコアの管理者権限をお持ちの方が作業を行ってください。

ファイルをアップロードする際は、PC と機器の Ethernet ポート(LAN ポート)を直接 LAN ケーブル(クロス/ストレートどちらでも可)で接続してください。
HUB などを経由して接続すると、正しくアップロードできない場合がありますので、必ず 1 対 1 で接続するようにしてください。

<手 順>

- 1) システム設定タブからシステム設定画面を開いてください。
- 2) 機器情報画面を開いてください。

機器情報

[ファイルアップロード](#)

更新履歴

No.	更新日時	更新内容
1	2016/12/02 18:56:14	アドオン更新
2	2016/12/08 16:15:09	システム更新
3	2016/12/08 17:58:31	システム更新
4	2016/12/13 16:14:48	システム更新
5	2016/12/13 17:33:18	システム更新

アドオンコード

「ファイルアップロード」のリンクをクリックし、ファイルアップロード画面を開いてください。



The screenshot shows a web form titled 'ファイル アップロード' (File Upload). It contains the following elements: a label 'アップロードするファイルを選択:' (Select file to upload:) above a file selection button labeled '参照...' (Browse...); a label 'アカウント名:' (Account name:) above a text input field; a label 'パスワード:' (Password:) above a text input field; and an 'アップロード' (Upload) button at the bottom.

- 3) **参照...**をクリックし、アップロードするファイルを選択します。
- 4) アカウント名に「管理者のアカウント名」、パスワードに「管理者のパスワード」を入力し、**アップロード**をクリックします。
- 5) アップロードが行われると以下のメッセージが表示されますので、約 3 分後に**トップに戻る**をクリックして、Web ブラウザーの再読み込みを行ってください。



- 6) トップページが表示されれば、ファイルアップロード完了です。

第 12 章 トラブルシューティング

エラーメッセージの表示など、正常に動作しない場合の原因およびその処置を説明します。

処置を行っても正常に動作しないときは、お買い上げ店またはエスペック株式会社に連絡(サービスコール)してください。

12.1 トラブル内容と処置方法

内容	推定原因	処置
Web ブラウザーにエスペックオンラインコア画面が表示されない。	エスペックオンラインコアの電源が ON になっていない。	エスペックオンラインコアの電源を ON にしてください。
	LAN ケーブルが接続されていない。	LAN ケーブルを接続し、LAN コネクタの LED が点滅することを確認してください。
	Web ブラウザーの[アドレス]欄に入力した IP アドレスが間違っている。	Web ブラウザーの[アドレス]欄にエスペックオンラインコアに設定した IP アドレスを入力してください。
	エスペックオンラインコアのネットワーク設定(IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ)が間違っている。	「9.1 ネットワーク設定」を参照していただき、設定をしてください。
	プロキシサーバーの使用が有効になっている。	プロキシサーバーの使用を無効にするか、プロキシの[例外]設定にエスペックオンラインコアの IP アドレスを追加してください。
装置情報(設定値、測定値)が更新されない	インターネット一時ファイル(キャッシュ)が残っており、画面が更新されない。	以下の方法で Web ブラウザーの設定を変更してください。 1) Web ブラウザーの「ツール」から「インターネットオプション」→「全般」タブ「閲覧の履歴」にある「設定」ボタンをクリックしてください。 2) 「インターネット一時ファイル」タブにて、「Web サイトを表示するたびに確認する」へチェックを入れてください。 3) 【OK】をクリックして、画面を閉じてください。 4) Web ブラウザー画面に戻って、更新された装置情報が表示されているか確認してください。
「システムの時刻がずれています。時刻合わせを実施してください。」が表示される。	エスペックオンラインコアが持つ時計がずれた、もしくは故障した可能性があります。	システム設定画面より、時刻合わせを実施してください。 時刻あわせを行っても同じエラーメッセージが発生する場合は、サービスコールをお願いします。

内容	推定原因	処置
「HTTP Request Failed」が表示される。	パソコンもしくはエスペックオンラインコアの LAN ケーブルが抜けている。	LAN ケーブルを再接続し、LAN コネクターの LED が点滅することを確認してください。
	エスペックオンラインコアの電源が OFF になっている。	エスペックオンラインコアの電源を ON にしてください。
	エスペックオンラインコアの故障。	サービスコールをお願いします。
エスペックオンラインコアの IP アドレスがわからなくなった。	-----	以下の方法で、IP アドレスを確認できます。 1) オンラインコアを起動してください。 2) エスペックオンラインコアの背面にある HDMI ポートもしくは D-sub ポートにディスプレイを接続してください。 3) オンラインコアの起動から 15 秒ほどで、画面に IP アドレスが表示されます。
「lan error」が表示される。	装置に LAN ケーブルが接続されていない。	装置に LAN ケーブルを接続してください。
	装置設定の IP アドレスが間違っている。	装置計装から IP アドレスを設定してください。
	RS-485⇄LAN コンバーター(エスペックオンラインコンバーター等)の電源が OFF になっている。	RS-485⇄LAN コンバーターの電源を ON にしてください。
	装置設定の[機種]が間違っている。	「9.5.3 装置登録、編集の手順」を参照していただき、設定してください。
	装置設定の[システムパスワード]と装置の WEB アプリケーションのログインパスワードが違う。	
	装置設定の[IP アドレス]の設定が間違っている。	
	インターネット一時ファイル(キャッシュ)が残っており、画面が更新されていない。	以下の方法で Web ブラウザーの設定を変更してください。 1) Web ブラウザーの「ツール」から「インターネットオプション」→「全般」タブ「閲覧の履歴」にある「設定」ボタンをクリックしてください。 2) 「インターネット一時ファイル」タブにて、「Web サイトを表示するたびに確認する」へチェックを入れてください。 3) 【OK】をクリックして、画面を閉じてください。 4) Web ブラウザー画面に戻って、更新された装置情報が表示されているか確認してください。

内容	推定原因	処置
<p>「time out」が表示される。 ※このエラーメッセージは、RS-485 ⇄LAN コンバーター(エスペック オンラインコンバーター等)を装置に 接続している場合のみ発生します。</p>	RS-485⇄LAN コンバーター(エスペックオンラインコンバーター等)の RS-485 ケーブルが装置に接続されていない。	RS485 ケーブルを接続してください。
	装置のブレーカーが OFF になっている。	装置のブレーカーを ON にしてください。
	装置の通信設定が間違っている。	<p>装置の RS-485 通信の設定を以下に合わせてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドレス : 1 ・通信速度 : 19200bps ・パリティ : なし ・デリミタ : CR+LF ・データ長 : 8bit ・ストップ : 1bit ・通信手段 : 標準
	インターネット一時ファイル(キャッシュ)が残っており、画面が更新されていない。	<p>以下の方法で Web ブラウザーの設定を変更してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Web ブラウザーの「ツール」から「インターネットオプション」→「全般」タブ「閲覧の履歴」にある「設定」ボタンをクリックしてください。 2) 「インターネット一時ファイル」タブにて、「Web サイトを表示するたびに確認する」へチェックを入れてください。 3) 【OK】をクリックして、画面を閉じてください。 4) Web ブラウザー画面に戻って、更新された装置情報が表示されているか確認してください。

編集・発行

エスペック株式会社

530-8550 大阪市北区天神橋 3-5-6

Tel:06-6358-4741 / Fax:06-6358-5500

Printed in Japan